

平成24年度

教育委員会事務点検・評価報告書

平成25年5月23日

竹原市教育委員会

目 次

1	教育委員会の事務の点検・評価制度について	1
2	平成24年度教育委員会議開催実績	2
3	評価の方法	5
4	平成24年度事業の点検及び評価	6
	(1) 学校・教育環境の充実	
	(2) 生涯学習の推進	
	(3) スポーツ・レクリエーションの振興	
	(4) 文化・芸術の振興	
	(5) 青少年健全育成の推進	
5	評価委員の点検・評価	16
6	資料1	18
	I 平成24年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果	
	II 平成24年度新体力テスト結果	
7	資料2 ー教育要覧より抜粋ー	20
	I 竹原市の概要	
	II 平成24年度竹原市教育行政の目標	
	III 教育委員の構成	
	IV 教育委員会事務局の構成・事務分掌	
	V 教育費科目別当初予算の推移	
	VI 竹原市立小学校・中学校の現況	
	VII 竹原市立幼稚園の現況	
	VIII 生涯学習の現況	
	IX 図書館	
	X たけはら美術館	

1 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年度から、全ての教育委員会は、毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることも規定されています。

竹原市教育委員会では、この法律に基づき、教育委員会の事務の点検・評価を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化を進めてまいります。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (平成19年6月27日一部改正)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 平成24年度教育委員会議開催実績

開催日	開催回数・ 定例臨時別	議案 番号	件 名
H24. 4. 12	第4回 臨時会	報告 協議	竹原市歴史的風致維持向上計画について
H24. 4. 25	第4回 定例会	26	市立竹原書院図書館協議会委員の任命について
		27	竹原市立公民館主事の任命について
		28	竹原市立学校学校評議員の委嘱について
		報告 協議	竹原市幼児教育・保育のあり方について
		報告 協議	学校施設の耐震診断結果の公表について
H24. 5. 21	第5回 定例会	29	定例市議会に提案される教育委員会関係の議案について（平成24年度教育委員会関係補正予算案）
		30	たけはら美術館協議会委員の委嘱について
		31	竹原市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
		32	竹原市特別支援教育相談委員会委員の委嘱について
		33	竹原市特別支援教育相談委員会推進員の委嘱について
		34	竹原市教育相談員の委嘱について
		35	平成23年度教育委員会事務点検・評価報告書案
H24. 6. 21	第5回 臨時会	36	竹原市教育委員会教育長の任命について
H24. 6. 27	第6回 定例会	37	職員の任免その他の人事について
		38	平成24年度準要保護児童及び生徒の認定について
		39	竹原市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
		40	竹原市公民館運営審議会委員の委嘱について
		41	竹原市立学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案
		42	竹原市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
H24. 7. 25	第7回 定例会	報告 協議	公民館長について
		43	平成24年度準要保護児童及び生徒の認定（第2期）について
		報告 協議	いじめ問題について
		報告 協議	通学路の安全点検について

H24. 8. 21	第8回 定例会	44	忠海中学校区における小中一貫教育について
		45	平成25年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について
		報告 協議	大乘幼稚園の運営について
		46	定例会市議会に提案される教育委員会関係の議案について (平成24年度教育委員会関係補正予算案)
		47	平成24年度準要保護児童及び生徒の認定(第3期)について
H24. 9. 26	第9回 定例会	48	市立大乘幼稚園の平成25年度新入児募集停止について
		49	平成24年度準要保護児童及び生徒の認定(第4期)について
H24. 10. 24	第10回 定例会	50	平成24年度準要保護児童及び生徒の認定(第5期)について
H24. 11. 16	第11回 定例会	51	定例会市議会に提案される教育委員会関係の議案について (平成24年度教育委員会関係補正予算案)
H24. 12. 18	第12回 定例会	報告 協議	小・中一貫教育について
H25. 1. 18	第1回 定例会	1	竹原市教育委員会委員長の選挙について
		2	平成24年度準要保護児童及び生徒の認定(第6期)について
		3	平成25年度使用特別支援学級用教科用図書採択について
		報告 協議	小中一貫教育について
		報告 協議	竹原小学校屋内運動場の設計について
		報告	「体罰」等の不適切な指導について
H25. 2. 7	第2回 定例会	4	定例会市議会に提案される教育委員会関係の議案について
		5	定例会市議会に提案される教育委員会関係の議案について
		報告 協議	小中一貫教育について
		報告	通学路の合同点検について
H25. 2. 21	第1回 臨時会	6	竹原市嘱託外国語指導助手の任用について

H25. 3. 18	第2回 臨時会	7	平成24年度末・平成25年度始教職員の人事について
		8	竹原市教育委員会永年勤務職員表彰について
		9	竹原市教育委員会会議規則の一部を改正する規則案
		10	竹原市教育委員会職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則案
H25. 3. 25	第3回 定例会	11	職員の任命その他の人事について
		12	竹原市嘱託外国語指導助手の任用について
		13	竹原市嘱託学芸員の委嘱について
		14	私立竹原書院図書館長の任命について
		報告 協議	小中一貫教育について

3 評価の方法

(1) 施策・事業の名称

前年度の教育要覧に記載された施策・事業について、5つの項目に分けて記しています。

(2) 内容

施策・事業の主要目標及び事業内容を記しています。

(3) 取組結果と自己評価

「取組結果」には、ねらいや目標達成のためにどのような取組を行ったか、その結果どのような成果があったかを記し、「自己評価」は次の4点から総合的な評価を行っています。

① 必要性

現在の市民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

② 有効性

教育施策や運営方針にどの程度寄与しているかを評価します。

③ 目標達成度

目標の達成状況を評価します。併せて、目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

④ 総合評価

各評価項目を勘案し、4段階総合評価を行います。

A	ねらいや目標は、十分達成された。
B	ねらいや目標は、ほぼ達成された。
C	ねらいや目標は、十分達成できなかった。
D	ねらいや目標は、まったく達成できなかった。

(4) 教育委員コメント

項目ごとに教育委員によるコメントを記しています。

(5) 評価委員による評価

教育委員会の自己評価に加え、3名の学識経験者の方による外部評価を行っています。

4 平成24年度事業の点検及び評価

(1) 夢をもち、子どもが輝く教育の実現を目指して、「就学前教育」「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校」「充実した教育環境づくり」の推進

施策・事業名	内 容	取組結果と自己評価	教育委員コメント
小中一貫教育推進事業 509千円	【主要目標】 夢をもち子どもが輝く教育の実現に向けた質の高い教育活動を行う。 【事業内容】 忠海地区、吉名地区において、一体型の小中一貫教育を推進するための検討委員会等を設置する。	忠海中学校区では一体型小中一貫教育校設立検討委員会を設置し、先遣地視察や教育関係者等の取組を行った結果、一体型小中一貫校の設立に向け、現在、準備委員会が基本設計について協議中。 吉名中学校区においても検討委員会での検討を終え一体型小中一貫校を推進する方向が出された。	B ○ 現場の声を大膽にし、子供たちにとってよりよい教育環境設備を推進したい。 ○ 全国で既に施行されている小中一貫教育校での問題点を参考にしたい。 ○ 皆さんの反応、対応は良いが、小中一貫教育の目的を理解してもらえない部分もある。
小・中学校耐震改修事業 19,155千円	【主要目標】 児童生徒が1日の大半を過ごす場所であり、災害時には避難場所として使用される学校施設の安全確保を図る。 【事業内容】 児童生徒の安全な教育環境を確保するため、小学校体育館（竹原小・忠海西小）と中学校校舎（賀茂川中）の改築又は改修工事にかかる実施設計を行う。	平成23年度に小・中学校施設の全ての耐震診断が完了し耐震化計画を策定した。平成24年度は竹原小学校屋内運動場新築工事、賀茂川中学校校舎耐震補強工事、非構造部材耐震化工事に係る実施設計を行った。また、忠海西小学校屋内運動場簡易耐震補強工事を実施した。平成27年度までに学校施設の耐震化を計画的に推進する。 《平成24年度事業費》 19,456千円 《平成24年度未耐震化率》 67.5%	A ○ 耐震・新築工事完成までの間、子供たちの心身両面での影響を最小限にしてほしい（騒音・工事現場での危険など） ○ 早急に対処する必要がある。 ○ 耐震化事業の推進とともに、津波被害を想定し、通学路に海抜標記設置を行うてはどうか。
学校給食運営事業 75,294千円	【主要目的】 平成24年4月から自校方式（3校）を廃止し、学校給食センターでの給食調理を拡充し市内全小・中学校に学校給食センターから給食を提供する。 【事業内容】 学校給食センターの運営費（光熱水費・事務費等）及び維持管理経費（施設管理の委託料）	平成24年度から新たに3校の小学校がセンター化され、市内全小中学校に学校給食センターが給食を提供している。安全で安心な学校給食の提供に努めるとともに食育や地産地消の推進を図っている。 現在、給食調理を委託している民間業者の契約が平成25年8月末で満了するため、引き続き委託業者を公募型企画提案方式で公募し安全で効率的な運営を確保する。	○ 全市内給食センター化による給食提供により、竹原市の食育がより前進することになったと思う。 ○ 地産地消にはこれからも力をいれていただきたい。（子供たちにも好評である。） ○ アレルギーマッチには一層の注意を望む。
食育推進事業 300千円	【主要目的】 学校、地域及び行政が連携協力し学校給食に地場産物を取り入れ、学校給食を教材として、日本の特徴である四季折々の「旬」や、地産地消の利点を学び、家庭で実践できることを目指した食育推進を図る。 【事業内容】 食フェアの実施。すくすく davantage の配布。地場産物の活用促進。	給食センターと生産者が連携することで、給食に積極的に地場産物や旬の食材を取り入れることができ、地場産物利用率も37.7%と目標の30%を大きく超えることができた。また、夏休みに実施した食フェアや給食日より等で、地場産物を活用した給食献立や生産者に関する情報を学校や家庭に発信することにより、地域の産物や旬の食材を示した。また生産者の声を伝えることで、生産者を身近に感じる安心感や安全性、また輸送にかかるコストや環境汚染の削減等、地産地消の利点を考えるきっかけを与えることができた。 夏休みに実施した「朝ごはん料理コンテスト」には、741人の応募があり、家庭での実践も増えてきている。また学校給食の残菜率も減少の状態で安定しており、食への関心が高まってきていると感じる。	○ 朝ごはんコンテストは子供たちが地元産の食材を調べ、工夫し、いろいろなことに気付く食育推進事業だと感心した。食フェアのクイズも楽しくてよかった。 ○ 幼い頃から食品の栄養素や調理法、健康との関わりなどを身近に、具体的に習得することが将来の生き方にまで影響すると思う。食育は食文化の基礎づくりになる重要な役目である力になる。ともいえるのではないかと。 ○ 保護者の関心が大きく、子供たちのお弁当を見ていても感じる。 ○ 子供たちも食に大いに興味を持ち、栄養師の話など聞くことがある。
竹原市私立幼稚園振興事業 2,800千円	【主要目的】 幼児の発達段階に応じた指導と相互の交流を通じて、心身の発達を助長し、その資質・能力の基礎を培うため、一人ひとりに応じた幼稚園教育の充実を図る。 【事業内容】 私立幼稚園の管理及び運営の円滑かつ適正な幼稚園経営に資するため、市内の私立幼稚園設置者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	市内の私立幼稚園設置者に対し、施設整備の購入又は設置に要する経費及び円滑運営上必要な人件費等に対し、国等の公共的団体からの補助金を減じ、予算の範囲内でそれぞれ次のとおり補助金を交付した。 《補助金》 聖愛幼稚園 2,300千円 中央幼稚園 500千円	○ 市内の子供たちに援助の手を差し伸べようとすることは好ましい。 ○ 幼稚園教育の充実が充分承知しているが、幼児期から子ども個人の個性を見つめ、伸ばすもって特色のある教育を望む。（体操・音楽・絵画・書道など）

<p>高等学級教育支援事業 1,000千円</p>	<p>【主要目的】 竹原駅前商店街等の協力をあおぎ、地域とともに市内高等学校の魅力向上を図る。 【事業内容】 竹原・忠海駅前商店街の空き店舗等を活用し、市内高校生の居場所づくりや学力の底上げに取り組み竹原地区教育推進会議に対して補助金を交付する。</p>	<p>竹原地区教育推進会議に対し補助金1,000千円を交付し、竹原駅前・忠海駅前自主勉強室を開設した。両自主勉強室の定着化が学校の図書室や道路脇等室での自主勉強の定着にも繋がった。平成25年1月から「大學生による座談会形式の講話会」を実施し、進学希望者の学習意欲が向上した。補助金は平成24年度が最終年度であるが、今後も高校生の学習意欲の向上を図る。</p> <table border="1" data-bbox="287 817 406 1310"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設</th> <th rowspan="2">開設日</th> <th colspan="3">利用者数</th> </tr> <tr> <th>高校生</th> <th>中学生</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹原</td> <td>128</td> <td>153</td> <td>5</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>忠海</td> <td>128</td> <td>101</td> <td>0</td> <td>101</td> </tr> </tbody> </table> <p>《利用者数》</p>	施設	開設日	利用者数			高校生	中学生	その他	竹原	128	153	5	161	忠海	128	101	0	101	<p>○ 電中待ちの生徒たちが自習室として、活用するのは自宅での勉強時間が短縮できる。 ○ 広大なの方が勉強を教えてくれるので楽に家庭学習が出来ることだと思ふ。 ○ 中学生・高校生が学習の目的で、同じ環境を共用できる場は理想的である ○ 利用者が少ない。一考を要する。</p>
施設	開設日	利用者数																			
		高校生	中学生	その他																	
竹原	128	153	5	161																	
忠海	128	101	0	101																	
<p>外国語指導員配置事業 12,655千円</p>	<p>【主要目的】 児童・生徒の英語力向上と国際理解の深化及び教職員の英語指導における資質向上を図る。 【事業内容】 A.L.T (外国語指導助手) を3名雇用し、小学校の外国語活動及び中学校の英語科の授業で教員の補助をする。</p>	<p>市内14校に3名のA.L.T (外国語指導助手) を配置し、外国語活動及び英語科の時間に活用した。直接雇用の形態にしたため、学校で直接A.L.Tと打ち合わせをすることが可能となりより効果的に活用することができている。</p>	<p>○ 小学校によっては教室などに英語での表示があるところなどがあり、子供たちの関心も大きい。 ○ もう少し授業時間があればよい。 ○ 3名のA.L.Tと小中の英語指導の教師全員が一同に会して交流し、意見交換するような機会があるとよい。</p>																		
<p>小・中学校教育用コンピュータ整備事業 17,996千円</p>	<p>【主要目的】 総合的な学習の時間及び各教科で活用する。 【事業内容】 児童・生徒用として、パソコンを小学校に259台、中学校に148台整備する。 電子黒板及び実物投影机 55台、充足率53.4%</p>	<p>平成17年度からパソコン教室へ、児童・生徒用パソコンを準備している。さらに平成24年9月1日から5年間リースにより、電子黒板及び教材提示装置を小学校の5・6年教室へ1台ずつ、中学校の竹原中学校 (ICT実践指定校) は全クラス及び理科教室へ、他の中学校は各校へ2台ずつ整備した。全校でICT機器を活用した教育を実施し、児童生徒の思考力・表現力の向上を図っている。</p>	<p>○ ICT機器の取組によって得た情報を子供たちが本当に活用するために、指導者の更なる研修を期待する。 ○ 充足率53.4%は県内では良いほうである。 ○ 特に電子黒板に注目している。</p>																		
<p>竹原っこ夢プロジェクト事業 1,000千円</p>	<p>【主要目的】 児童・生徒が夢と希望を持ち、将来に向けて自主的・主体的に生きていくための「生きる力」を育む。 【事業内容】 児童・生徒から、本市の地域資源をテーマとした夢や希望を募集し、その実現に向けて支援を行う。 小学校2件、中学校1件を対象とする。</p>	<p>市内3小学校において、児童が将来に夢を持つとともにふるさと竹原に誇りを感じ、主体的に生きていくための力を育成した。 【忠海西小学校】 忠海に昔から伝わる話や歴史について地域の方々に聞き取りをし、「忠海大聖絵本」を作成した。活動を通して、地域の方々とふれ合うことも、「ふるさと忠海」のよさを再認識することができた。作成した大聖絵本は、今後、地域の方々だけでなく保育園等にも発表する計画である。 【大乗小学校】 児童の夢にあった「阿波島への上陸」を受け、地域にある阿波島へ全校児童が行き、そこで「無人島体験」をした。この活動を通して、互いに協力することの大切さや夢を実現するために多くの人々の協力があること等学んだ。それを「大乗の宝」としてビデオにまとめ、地域や市内に発信した。 【東野小学校】 学校周辺には、青田古墳をはじめ、比沙門岩や木村城跡、手島屋敷などの史跡や釈迦神社や長善寺などの神社仏閣が数多く存在している。その特色を生かし、高学年が中心となりジオラマ（立体地図）を作成した。また、東野の歴史や未来について児童が作詞作曲し、下級生や地域の方々へ歌と踊りで、東野町のすばらしさを伝えた。</p>	<p>○ 子供たちが夢と希望を持つこのプロジェクトは大きい賛同する。 ○ 地域に誇るプロジェクトが多いのは良い。 ○ 近隣地域の発見・再発見ができ郷土を愛する心を育む授業だと思ふ。 ○ 授業時間の余裕があれば、3校が互いに発表し合い、地域の良さを分かち合えば、もっと誇りを感じられる事業になると思う。 ○ 夢プロジェクトに取り組んだ友達との思い出が、成人した後に懐かしく思う場面がきつと訪れると思う。それは、ふるさとを想う気持ちにつながる。</p>																		
<p>理科支援員等配置事業 700千円</p>	<p>【主要目的】 小学校の理科授業の充実・活性化を図るとともに、教員の理科授業に関する指導力を向上させる。</p>	<p>市内2小学校に理科支援員を配置した。各校年間30回（1回について3時間の支援）の活用で、理科室の整備をはじめ、理科授業の充実・活性化を図ることができた。理科支援員配置に係る児童へのアンケート結果は、次のとおり</p>	<p>○ 野外体験や星空教育、おもちゃ工作など自然と直接触れ合った経験が理科の学習の原点になると思う。親子参加型のイベントなど授業以外の理科指導のプロジェクトが入り口になって理科が好きになるきっかけになるのではないかと。</p>																		

<p>小学校公開授業研究会推進事業</p> <p>1,808千円</p>	<p>理科が得意な人材を小学校理科授業(5・6年生)に活用し、観察・実験活動等における教員の支援や、効果的な実験等の提示や体験活動などを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理科の授業が分かるようになり、肯定的評価86.0% ・ 結果を予想しながら実験するようになった。肯定的評価89.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良き指導者との出会いを期待する。 ○ 5・6年生ではなく、低学年からが望ましい。 ○ B評価がついているが、事業後の肯定的評価86.0%、89.0%は高い値。 ○ 事業前の評価がわからない。
<p>小学校公開授業研究会推進事業</p> <p>1,808千円</p>	<p>【主要目標】 小学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 各教科、総合的な学習及び各領域での教育公開研究会を開催する。</p> <p>【実施校】 * 志海東小学校 (10月10日) * 志海西小学校 (10月11日) * 大乗小学校 (10月16日) * 竹原小学校 (2月15日) * 中通小学校 (11月2日) * 竹原西小学校 (10月5日) * 東野小学校 (10月2日) * 荏野小学校 (9月26日) * 仁賀小学校 (11月1日) * 吉名小学校 (9月28日)・・・吉名中学校と合同</p>	<p>市内10小学校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。</p> <p>各校においては、授業後の研究協議会を充実させるために、日程や方法等を工夫しながら、一人一人の児童に確かな学力を育成するために取り組むことができた。今年度、各校に整備した電子黒板等のICTを効果的に活用し授業改善に努めるとともに、児童の実態を把握し、組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生方は前向きに頑張られている。 ○ ICTの授業もこれから活用の幅が広がるようになると思う。 ○ 10年前と比較すると授業内容が充実し、教材研究もよくなっていると感じる。 ○ 研修会当日までに諸準備を重ねてくれた教師に達成感や充実感のある授業展開となるよう、今まで以上に願います。そのためには、アプローチの仕方をもっと検討されてもよいのではないかと。
<p>中学校公開授業研究会推進事業</p> <p>568千円</p>	<p>【主要目標】 中学校教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 基礎学力の定着を図るため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施校】 * 志海中学校 (11月22日) * 竹原中学校 (9月27日) * 賀茂川中学校 (9月24日) * 吉名中学校 (9月28日)・・・吉名小学校と合同</p>	<p>市内4中学校全てにおいて、教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。</p> <p>各校においては、授業後の研究協議会を充実させるために、日程や方法等を工夫しながら、一人一人の生徒に確かな学力を育成するために取り組むことができた。今年度、各校に整備した電子黒板等ICTを効果的に活用し授業改善に努めるとともに、生徒の実態を把握し、組織的な教育研究の充実と発展に向けた取組を推進していくことができてきている。</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の授業は小学校からの積み重ねがあるので、より思考力、想像力の広がり、深まりがあればと感じる。 ○ 時間配分などさらに考慮し、学習をテンポよく展開していただきたい。 ○ 公開授業としては、ICTを効果的に活用されていてよかったが、受講する生徒の態度に問題があったことが気になる。 ○ 学校により温度差があると感じる。
<p>学校緑化推進事業</p> <p>869千円</p>	<p>【主要目標】 小・中学校において学校緑化を推進し、学校の美化や景観の向上を促し、心に安らぎと潤いのある教育環境を創出するとともに、児童生徒への環境に対する関心を高める。</p> <p>【事業内容】 児童生徒を中心に計画的・組織的な校内の緑化活動を進めるとともに、家庭をまきこんだ取組に広げる。</p> <p>【実施校】 * 小・中学校全校</p>	<p>市内小・中学校で、創意工夫した学校緑化を進め、学校の美化や景観の向上を図った。各校の取組を11月の竹原市子ども文化祭においてパネルで発表した。学校からは、植物の世話をする中で、自然に対する関心が深まった。植物の世話が地域の方とのコミュニケーションのきっかけとなった。児童生徒の川柳や俳句に、体験を通じた喜びや驚きが素直に表現されるようになった。家庭部門では、市内小・中学校から昨年の5倍にあたる206名の応募があった。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ この事業はどこにもないと思う。緑化・美化だけでなく、児童生徒に与える心への影響はおおきいと思う。 ○ 育てる喜びも加わり、地域を巻き込んでいる学校もあって嬉しい。 ○ グリーンカーテナーや生徒からのコンセプトの募集など各学校ともに特色のある緑化を推進しておりすばらしい。 ○ 理科的指導の助言、情報教育の面にも声かけをし、植物とともに成長してほしい。
<p>幼稚園教育公開研究会推進事業</p>	<p>【主要目標】 幼稚園教職員の研修を充実させるとともに、教育公開研究会の開催を推進する。</p> <p>【事業内容】 基本的な生活習慣を身に付けさせ豊かな心を育てるため、指導方法等の研究を公開する。</p> <p>【実施園】 * 大乗幼稚園 (10月17日) * 竹原西幼稚園 (10月12日)</p>	<p>市内2幼稚園において、これまでの教育研究の成果を広く普及するための公開研究会を開催した。市内の学校の教職員はもとより、地域の方々、保護者の方々の多くの参加をいただき実施することができた。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼稚園の公開研究会に未就園の保護者の方の参加も可能であれば、講演会など貴重な機会を与えてあげたい。 ○ 心豊かに、元気で挨拶など当たり前のが当たり前に出来るこどもの育成に努力して下さっているのを拝見し、幼児教育の大切さを痛感している。

<p>学力検査事業</p> <p>1, 838千円</p>	<p>【主要目標】 児童生徒の学力を把握するとともに、課題と取組みを明らかにする。</p> <p>【事業内容】 標準学力調査を実施し、その結果を分析し学力向上を図る。</p>	<p>市内全小・中学校において（小学校1年生は除く）業者による学力テストを実施した。</p> <p>各校において調査結果の分析を行い、児童生徒の実態を把握し、授業改善に生かすとともに、課題克服に向けた組織的な教育研究を進めた。また、市内小・中学校において、共通した課題（全国平均を上回っていない教科）が、理科であったことを受け、市教委主催の「理科担当者研修会」を実施した。</p>	<p>○ 本事業においての課題と取組みを十分に明らかにし、学力向上を図っている。</p> <p>○ 中学生では宿題がないのでは学力の定着にはつながらないのではなか、中学に入れば、自主的、主体的な学習をすることも大切だが、中2までは宿題や家庭学習など必要であると思う。</p> <p>○ 学力検査を日々の学習の中での課題克服につながる取り組みをされている学校もあるので、学力定着へのアプローチが必要。</p>
<p>体力テスト事業</p> <p>437千円</p>	<p>【主要目標】 児童生徒の体力を分析し、課題と取組を明らかにする。</p> <p>【事業内容】 全学年体力テストを実施し、その結果をもとに体力運動能力の向上を図る。</p>	<p>市内全小・中学校において実施した新体力テストの結果を分析し、竹原市の小・中学校では、体格では全国平均を下回っているが、体力は、調査項目の79.1%で上回っていた。中学校では調査項目の50.0%上回っているものの、小学校と比較して体力面の課題が見られる。さらに部活動の活性化や、日常的な体力づくりの取組を進める必要がある。</p>	<p>○ 体力は生きる力につながると思う。家庭でのスポーツの位置づけも親子で確認し合っていたらいい。</p> <p>○ 特色ある学校づくりで、体力づくりなどを各校共に取り組んでいるが、もっと楽しく取り組む工夫がほしい。</p>
<p>総合的な学習等の推進事業</p> <p>1, 187千円</p>	<p>【主要目標】 小・中学校における総合的な学習の授業を充実させる。</p> <p>【事業内容】 地域の方や、特技のある方を講師として招聘するとともに生徒の職場体験学習等を推進する。</p>	<p>年間計画に位置づけ、充実した総合的な学習の時間を進めるために、校外から地域の方々を中心とした講師の招聘を計画的に進めた。児童生徒は、様々な語を聞いたり、体験をしたりすることができた。</p> <p>8年目をむかえた「職場体験学習」では、地域の約120事業所の協力により、約250名の4中学校の生徒が参加することができた。保護者・事業所・生徒の事後アンケートでは、8割以上の肯定的評価をいただいた。</p>	<p>○ 各小・中学校共に地域の特色を取り上げたり、工夫されていて、この事業が子供たちの将来に役立ってくれると思う。</p>
<p>教育相談事業</p> <p>4, 053千円</p>	<p>【主要目標】 学校で対応できない複雑・多様化するいじめ、不登校等の教育問題について相談・支援業務を実施し、児童・生徒等の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】 教育相談室において、不登校やいじめ問題等に対する相談活動を行う。</p> <p>業務の一部を民間委託し、休日・夜間も相談業務を行う。</p>	<p>教育相談室に一名の非常勤教育相談員を配置するとともにNPOふれあい館に一部業務委託し、不登校をはじめとする教育問題について相談・支援を受けている。今年度定期訪問相談に訪れた児童生徒が、3学期の後半学校復帰の兆しが見える場面があった。</p>	<p>○ 心の成長は目には見えにくいですが、いじめやいじめがきっかけになる場面設定を最大限整えていきたいと思う。</p> <p>○ 本当に悩んでいる子はなかなか相談室に足が向かわないと思う。聞いてほしい。どうすれば支援できるか全国の良い例は？</p>
<p>人材育成事業</p>	<p>【主要目標】 教職員一人ひとりの能力・適性等に応じた人材育成を図るため研修の充実を図る。</p> <p>【事業内容】 ・校長による人材育成計画の作成と市教委との協議 ・指導主事による学校訪問指導 ・竹原市教育委員会主催の研修会の実施</p>	<p>校長が教職員の人材育成計画を作成し、これをもとに教育委員会とヒヤリングを実施している。</p> <p>指導主事による学校訪問指導を計画的に行い、各校の研究推進、授業改善に努めている。</p> <p>教職員の職能の向上を図るため、広島県主催の研修会への参加はもとより、下記の本市独自の研修を実施した。</p> <p>教頭研修（12回）、教務主任研修（2回）、生徒指導主事等研修（3回）、保健主事研修（2回）、研究主任研修（3回）、初任者研修（3回）、特別支援教育研修（2回）、道徳教育推進協議会研修（5回）、食育研修（2回）、理科担当者研修（1回）、ICT教育担当者研修（3回）、防災教育担当者研修（1回）等</p> <p>夏季休業中に行う、全教職員を対象にした教育研究大会の内容も徐々に充実してきている。</p>	<p>○ 教職員の人材育成は、子どもたちの健全な成長にとって不可欠なものであり、授業づくり、教育推進、服務等日常業務を通して、校長を中心とした組織的な取組が大切である。</p>

(2) 新しい生涯学習の推進を目指して、「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習機会の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	教育委員コメント
<p>公民館運営事業</p> <p>18, 348千円</p>	<p>【主要目標】 生涯学習の基本理念である、生涯いつでも「どこでも」「だれでも」を推進するため、自由に学習機会を選択して学習することができ、その学習成果が地域社会において適切に評価されるような社会をめざして諸条件を整備する。</p> <p>【事業内容】 ひとつづくり・まちづくりの学習拠点施設として、社会教育・生涯学習推進事業として各種講座を開講する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ その他各種学級講座 《実施時期》 5月～3月 ○ 公民館まつり・産業文化祭 《実施時期》 11月～3月 ○ 公民館役員研修等 《実施時期》 5月～3月 ○ 子育て支援事業 《実施時期》 5月～3月 ○ スポーツ大会・スポーツ教室 《実施時期》 5月～3月 ○ 地域環境活動事業 《実施時期》 6月～3月 ○ 公民館だより発行 《実施時期》 毎月1回 	<p>生涯学習の理念に基づき、住民ニーズを把握して学習機会や情報の提供を行っている。</p> <p>今年度は、これまでの実施した地域課題の把握と学習プログラムの作成方法を学ぶ研修を受け、実際に学習プログラムを作成し、公民館において実践し、結果を検証する研修を実施した。</p> <p>また、カーブテレビを活用し、公民館運営事業を始めとした各種事業の情報発信を図った。</p> <p>今後は、課題などの要求課題のみならず、地域の課題などの必要課題に取組む、学習成果が社会に還元できる体制づくりが必要である。</p>	<p>○ 公民館ですでに入力している方には充実した空間となっているといえるが、足を運ばない人には壁があるようだ。</p> <p>○ 自治会と公民館が主体となってイベント以外で地域の人とつながっていく方法はないものか。</p> <p>○ 地域の中心が公民館になっているのが現状。</p> <p>○ 熱心な館長、勉強しておられる館長というところで館により温度差がある。</p> <p>○ 館長選任方法も一考の必要あり。</p> <p>○ 市民にとって魅力ある講座、事業が望ましいが、生涯いつでもどこでもだれでもを理念とするならばほとんど参加がない講座、事業も継続していくことになるのか。</p>
<p>成人式事業</p> <p>650千円</p>	<p>【主要目標】 新成人者をはじめ、新成人者前後を対象とした実行委員会委員を公募により募集し、成人者となったことの自覚を促し、保護者と共に祝福する。</p> <p>【事業内容】 ○ 式典 (市長メッセージ、来賓祝辞、新成人誓いの言葉)</p> <p>○ アトラクション</p> <p>【開催時期】 平成25年 1月12日(土)</p> <p>【開催場所】 竹原市民館ホール</p>	<p>新成人者による実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を行った。実行委員会が、会議を重ねて検討し、実施したアトラクションは概ね好評であった。</p> <p>また、開催時期については、成人者や保護者からの一定の評価を得ている。</p> <p>しかし、実行委員会の公募については、自らの募集集まらなく、公募方法を検討する必要がある。</p>	<p>○ ここ数年、実行委員会による成人式の運営だが、ややマンネリ化した感が否めない。</p> <p>○ 毎年の風景ですが、式の前に市民館の前の受付広場で成人者同士が久しぶりに再会に話しかけ写真を取り合い、和気あいあいの微笑ましい姿が見られ、まわりの方まで祝福の気持ちになる。これが出る暖かい空間はないのだろうか。</p> <p>○ 式典そのもの大分簡素化されたが市長さんと直接触れ合う場面設定は無理か。(本当に投票に行く成人になってほしいので)</p> <p>○ 成人者に任せたことや、式が午前から午後になったのはよい。</p> <p>○ 実行委員がなかなか決まらないうえ、実行委員には記念品を贈るなど何か考えてはどうか。</p> <p>○ ボランティアの皆様には感謝です。入りやすい・読みやすい図書室になった。</p>
<p>読書の森づくり事業 (学校教育支援事業)</p> <p>170千円</p>	<p>【主要目標】 児童生徒に愛され利用しやすい学校図書整備を通じて学校教育を支援するとともに、地域コーディネーター・ボランティアの養成を促す。</p> <p>【事業内容】 学校図書支援ボランティアの研修会を開催する。 小学校1校について、学校図書館の改造計画を策定し、行政・学校・地域が連携して学校図書館の環境改善に取り組み。</p>	<p>大乗小学校と廿野小学校において、生徒が活用できる図書館づくりを目指し、学校支援ボランティアや学校関係者と協力し、図書の払い出し、書架の配置換え等の図書館整備を実施した。</p> <p>また、学校支援ボランティアを対象に、図書館整備の業務研修や図書館ボランティアの心構えについての講演会などを行った。</p> <p>現在の図書館整備は小学校のみで実施しているため、今後は、中学校においての実施を検討する必要がある。</p>	<p>○ ボランティアの皆様には感謝です。入りやすい・読みやすい図書室になった。</p>
<p>自動車文庫事業</p> <p>5,430千円</p>	<p>【主要目標】 市立竹原青年図書館は、公共図書館として、全ての市民に図書を提供することを大原則としている。そのため、図書館は時間的、空間的に、その他の事情によって直接図書館を利用することが困難な市民に、できるだけ図書の提供が均等化するようにしなければならない。その有効な方策として自動車文庫「わかたけ3号」を運行し、図書の提供の拡大と充実を努めている。平成16年度より、市内全保育所・小学校へも巡回し、読書の推進を図っている。イベント会場へ「わかたけ3号」が駐車し、PR・貸出を実施する。</p> <p>【事業内容】 ○ 37ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回。</p>	<p>・37ステーションを8コースに分け、毎月1回巡回し本の貸出・返却・リクエスト受付などの対応を行った。各町内を巡回しているが高齢化などによりステーションまで来られない方への対応が課題である。</p> <p>・自動車文庫には約2,500冊を積載して市内を巡回し、貸出を行った。市内4小学校巡回時には、別に500冊補充し、多くの児童が本を借りることができるよう取り組んだ。</p> <p>・全保育所・小学校・中学校及び放課後児童クラブ・ふれあい館・ゆりかごへの団体貸出を実施した。(1団体1ヶ月50冊)</p> <p>・市内4中学校のWEB予約の本の配送(毎週木曜日)を行ったが利用数が伸びない学校もあり、今後、貸出・返却・予約の方法や配送について学校と連携を取り、考えていきたい。</p>	<p>○ 自動車文庫の学校巡回もそうだが、スーパー駐車場での貸出しに喜んでおられる方の声もあった。</p> <p>○ 少数でも1人でも多くの方に本を手にしてほしいという願いのもと地道な努力に感謝。</p> <p>○ 巡回の利用者も多く、待ち望んでおられる方も多いです。</p> <p>○ 保育所に巡回で、小さい時から本に親しむことは成長する過程で役立ってくれると確信している。</p>

	<p>○ 自動車文庫には約2,500冊(成人、児童向けを各50%)を積載して貸し出す。</p> <p>○ 全保南所・小学校・中学校、高等学校及び放課後児童クラブへの団体貸出しの実施。(1団体1ヶ月50冊)</p> <p>○ 市内4中学校のWEB予約による本の物流。</p> <p>○ 市内のイベントに参加し、移動図書館車による展示・体験乗車・貸出・返却・読み語り事業を行う。</p>	<p>・今年度より市内全中学校各学級への団体貸出も行った。</p> <p>・市内のイベント(健康ふくし祭り・Jパワーふれあいデー)に参加し、移動図書館車による展示・貸出・返却・体験乗車の読み語りを行った。</p>	<p>○ 複合施設での図書館建設が1日でも早く実現するよう願う。</p> <p>○ 他市町との取り組みも十分研究して参考にしたり、独自性を練ってほしい。</p> <p>○ 図書館建設には何年度を目標にいくら位の建設費をかんがえていくのか。</p> <p>○ 301万円の指定寄付があったように、図書館の現状を広く市民に広報し寄付を募るといった方法もある。</p>
<p>図書館建設基金積立金事業</p> <p>5,138千円</p>	<p>【主要目標】 図書館建設に要する経費の出願に充てるため積立を行う。</p> <p>【事業内容】 上記目標に添って今年度5,000千円を積立てる。</p>	<p>・積立金500万円は予定通り行われ、301万円の指定寄付もあった。</p> <p>・歳入の増加や、古文書など貴重な郷土資料の適正管理もできない状況があり、早急な図書館建設が望まれる。</p>	<p>C</p>
<p>新1年生ブックスタート事業</p> <p>240千円</p>	<p>【主要目標】 読書に興味を持ち、持続的な読書習慣を家族とともに作り出す。</p> <p>【事業内容】 小学校入学の日、新1年生に入学のお祝いとしてマイブック絵本「ぞうのエルマー」を読書カードと一緒にプレゼントし、家族の方と一緒に本を読んだ記録をカードに書き、たくさん読んだ児童を表彰する。</p>	<p>・新1年生に絵本『ぞうのエルマー』をプレゼントした。同時に、読書カードを配布し、一年間に読んだ本をカードに書いてもらい、多く読んだ児童を表彰した。読書冊数1000冊を超えた児童もいた。</p>	<p>○ 家庭が基本なので、読書環境の大切さを今後とも保護者に訴えてほしい。</p> <p>○ 新1年生ばかりではなく、新幼稚園や保育所入園時にも配布は無理か。</p>
<p>竹原文化学習事業</p> <p>99千円</p>	<p>【主要目標】 たけはらイメージアップ戦略推進事業として、ご当地たけはらを知らせることにより、地域の活性化を推進する。</p> <p>【事業内容】 竹原を知る講座やフィールドワークを通じて、地域の活性化・振興を推進する。</p> <p>○ 郷土に関する知恵の持ち主(郷土史家など)を講師とし、市民や観光に携わっている人々を対象にした講座を開催する。</p> <p>○ 参加者が市内の歴史や観光分野の情報を学ぶ傍ら、講師らにより検定問題を作成し、参加者の習熟度をテストする。</p> <p>○ 観光協会や観光交流室とも連携して道の駅や各種イベント、HPなどを使い、市内外へ検定を用いた竹原のPRを行う。</p>	<p>・市民の方々に、竹原の、郷土の歴史、文化などを知っていただく機会として講座やフィールドワークを「ふるさと竹原学」と名づけて5回開催した。市民の方々ばかりではなくインターネットなどで興味のある方を募り、県外からの参加もあった。</p> <p>・講座やフィールドワークでは地域やそれぞれの分野で研究しておられる方々に説明していただいた。</p> <p>・竹原の食を考える会」の方々と連携し、郷土の食文化を知っていただくという「魚飯」を作ってみませんか』と題して、調理実習をおこない好評を得た。</p> <p>・講座やフィールドワークの際に竹原ケーブルネットワーク「タネット」に取材・撮影を依頼し、行事の様子を放映し、市民にPRした。</p>	<p>○ 先日の竹まつりの際に先着何名と魚飯を食べてもらうとか竹原の元気をもってアピールしたほうがよい。</p>
<p>図書館可書庫用事業</p> <p>2,149千円</p>	<p>【主要目標】 市内各小中学校の図書・資料等の利便性を確保するため、地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金を活用して学校支援に努める。</p> <p>【事業内容】 小中学校専属の司書を臨時職員として雇用する。</p> <p>○ 自動車文庫での団体貸出しの準備</p> <p>○ 授業の要望に併せた資料の選書・準備・学校への配達</p>	<p>・学校支援のための司書の配置により、中学校の団体貸出しに力を入れ市内全中学校各クラスに団体貸出を行った。</p> <p>・授業に必要な図書の貸出の要望も随時受け、選書して速やかに届けるなどの対応もでき、学校支援を強化できた。</p>	<p>○ 臨時ではなく正職員を雇用してほしい。国も全校に司書をおくようにすすめている。</p>

(3) だれもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実と有効活用」の推進

実と有効活用」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	教育委員コメント
<p>学校体育施設開放事業</p> <p>1, 748千円</p>	<p>【主要目標】 学校等の体育施設（屋内運動場・夜間照明・グラウンド）を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりが積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持、体力増進に関心を高める。</p> <p>【事業内容】 学校体育施設（市内小中学校14校、恵徳高等学校、竹原高等学校）へ管理指導員を置き、地域住民のスポーツ活動を推進する。</p>	<p>学校開放施設16校（市内小中学校14校、高校2校）を利用状況に応じて各90日から160日間開放し、地域の各種競技を通して、競技力の向上を図り、生涯スポーツの推進を行っている。</p> <p>A</p>	<p>○ 使用マナーの徹底をさらにほかり、公共施設を大切に存続させてほしい。</p> <p>○ どのグラウンド・体育館もフル活用されている。利用されている方々のモラル（タバコ禁止など）に注意し、大いに利用していたきたい。</p> <p>○ 学校、体育館施設当の開放については、しばしば市民から喜びの声を聞いている。</p>
<p>体育指導委員活動事業</p> <p>480千円</p>	<p>【主要目標】 スポーツの振興のため、地域住民に対しスポーツの実技の指導、その他スポーツに関する指導・助言を行う。又、各研修会・研究会等に参加し、相互の情報交流と資質の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市スポーツ推進委員総会 ○ 尾三地区スポーツ推進委員協議会定期総会及び交流競技大会 ○ 尾三地区スポーツ推進委員研修大会 ○ 広島県スポーツ推進委員研究大会 ○ 広島県女性スポーツ推進委員研修会 ○ 広島県総合マネジメント研修会 ○ 広島県新任スポーツ推進委員研修会 ○ 各地域のスポーツ振興の指導・助言 	<p>今年度は、尾三地区スポーツ推進委員研究会が竹原市で開催され、竹原市出身で日本ゴルフツアー機構競技委員の原端プロによる講演とスナッグゴルフの実技指導を行うとともに、吉名町スポーツ振興会主催のスポーツ行事では、体力テストを行った。</p> <p>また、各種スポーツ大会でも運営協力し、スポーツ振興に寄与した。</p> <p>B</p>	<p>○ スポーツを極めた人にその道の厳しさと達成したときの充実感や身をもって語っていただくのは、大変有意義で貴重なことだと思う。</p> <p>○ スポーツ推進委員の活用が見えにくい現状と感ずる。竹原全域合で体力テストやシニアのための体操教室とかもって推進してはどうか。</p>
<p>各種体育大会・行事運営事業</p> <p>5,430千円</p>	<p>【主要目標】 生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、住民一人ひとりと積極的にスポーツに親しみ、自己の健康保持増進、体力づくりに関心を高めるため、各種教室、大会行事等を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市女性バレーボール大会 ○ 市民ハイキング ○ 竹原市民体育大会 ○ 竹原駅伝競走大会 ○ 竹原ロードレース大会 ○ 芸南学童水泳大会 ○ 竹原市少年野球大会 ○ 竹原市少年サッカー大会 ○ 竹原市バレーボール講習会 	<p>例年どおり少年野球教室、芸南水泳大会など青少年スポーツ活動育成事業や竹原ロードレースでは15部門に623名が参加し市外参加者も多く、県内の恒例行事として定着している。</p> <p>また、市民体育大会も37回をかぞえ、12競技部門で健康保持増進や親睦が図られた。</p> <p>B</p>	<p>○ 初めてロードレースを応援しましたが、もっと多くの人に声かけしてほしい。スポーツは参加する人も、応援する人も清々しい気持ちになれるものです。</p> <p>○ 多くの事業を実施されていて良いとは思いますがマンネリ感あり。</p> <p>○ 参加者が多ければよいものではないと思う。</p>
<p>体育施設管理維持事業</p> <p>6,516千円</p>	<p>【主要目標】 市内の体育施設を開放し、生涯スポーツ及び競技スポーツの推進を図るとともに、一人ひとりがスポーツ・レクリエーションに親しみ、自己の健康保持・増進について関心を深める。</p> <p>【事業内容】 市民の体育・スポーツの普及・振興及び健康で文化的な行事、スポーツ・レクリエーション等の用に供するため体育施設を開放し、健康・体力づくりの推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド ・体育館アリーナ・パレーボール、バスケットボール、卓球、 	<p>総合公園バンブー・ジョイ・ハイランド体育施設では、昨年に続きフットサル対応の打球ネットの増設及びコートライン引きを行い、利用者の要望に応えるとともに普及を図った。</p> <p>また、大井スポーツ広場の老朽化したブランコの一部撤去や、小学校のネット修理など安全の向上を図った。</p> <p>B</p>	<p>○ 体育施設の利用料を誰もがわかるように表示してほしい。施設や利用者（子供を含む）により料金の違いは承知しているが分がりにくいといった声を聞いている。</p> <p>○ バンブーで子どももあそべる広場が1番奥の日日につきにくいくところにあるため、ゆったり時間があそべる広場が1番奥の日日につきにくいくと小さな子供は遊ばせることが出来ない。道路に近い場所に幼い子供を遊ばせるくらいミニ広場を作ることは無理か</p>

<p>剣道、バドミントン、ソフトテニス、フットサル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的グラウンド……ソフトボール、サッカー、野球、ゲートボール、グラウンドゴルフ ・テニスコート ・トレニングルーム ○ 竹原市営相撲場 ○ スポーツ広場……患海・小梨・大井・宿根・田万里スポーツ広場 ○ 学校体育施設 ・グラウンド等……ソフトボール、野球、サッカー、テニス ・屋内運動場……バレーボール、ソフトバレー、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレー 	<p>【主要目的】 竹原市の子どもたちがスポーツを通じて夢や目標を持ち、取組むことにより競技力の向上と底辺拡大を目指す。また、指導者もトップ選手等の指導方法を学ぶことができ、指導力の向上・育成につながる。競技団体の組織強化と地域の競技活動の促進を図る。</p> <p>【事業内容】 NPO法人トップス広島の協力を得ながら、加盟団体の選手によるスポーツ教室・講習会を開催する。 (NPO法人トップス広島加盟団体) サンフレッチェ広島、広島東洋カープ、JTサンダース、ワクナガレオリック、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、NTT西日本広島ソフトテニスクラブ、中国電力陸上競技部、コカ・コーラウエストレッドスパークス</p>	<p>今回で2回目となるプロアスリート教室は、NTT西日本広島ソフトテニスクラブによる教室を開催し、50名の参加があり、当市におけるソフトテニスのジュニアスポーツ育成、指導者の資質向上を図った。</p>	<p>○ 夢と希望を与えるプロアスリート教室は良い。年に2回程度、種日を変えてアスリートを招き子供たちに指導や演技を見せてほしい。</p>
<p>プロアスリートスポーツ教室事業</p> <p>250千円</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>○ 夢と希望を与えるプロアスリート教室は良い。年に2回程度、種日を変えてアスリートを招き子供たちに指導や演技を見せてほしい。</p>

(4) 竹原の歴史文化や町並みが守られ、活かされることを目指して、「歴史文化を守り、伝え、はぐくむづくり」「文化財及び歴史資料の保存・活用の仕組みづくり」「町並みの保存・活用・魅力づくり」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	教育委員コメント
<p>文化財保存事業</p> <p>57,685千円</p>	<p>【主要目的】 伝統的建造物群保存地区、建造物、史跡、天然記念物、埋蔵文化財、美術工芸品、工芸技術、伝統的芸能など文化的価値を有する文化財の保存と新たな文化財の発掘に努め、文化的景観の整備と保存意識の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統的建造物群保存修理事業 (2件) ○ 市内指定文化財保存管理事業 ○ 遺跡発掘調査委託事業 ○ その他文化財保存事業 	<p>○ 伝統的建造物群保存修理事業 ・ 古川邸 (7,423千円)、大石邸 (10,563千円) の保存修理・修景事業を実施 ○ 伝建選定30周年記念事業 ・ 記念講演・記念誌の発行・企画展示・広報の連載など ○ 伝建地区保存対策調査事業 ・ 町並み保存地区の保存施策の見直しのため行った調査報告書(概要版)の作成 ○ 市内指定文化財保存管理事業 ・ 指定文化財等は適切な管理を地域の文化財保護活動団体に委託により実施 ・ 文化4施設(森川邸・松阪邸・光太郎・歴史民俗資料館)は、指定管理制度により活用を促進 ○ 旧城原家十藏保存修理事業 ・ 老朽化が進んだ旧城原家土蔵の修理 ○ 民俗文化財等活用調査事業 ・ 古井家に継承されてきた民俗文化財等の古帳整理 ○ 遺跡発掘調査委託事業 ・ 開発行為に伴う試掘調査の実施</p>	<p>○ 全国には美術館をもっている市がたくさんある。このような美術館へいってみると市立の他施設の入場と抱き合わせになっている。他施設の割引もついていた。竹原市も例えば森川邸等の入場と抱き合わせにすることで観光客の集客を試みてはどうか。 ○ 最近はいろいろと工夫され、竹原を訪れる人も多く聞いています。歴史ある建造物もしっかり後世に残すためにも今が大チャンスと感じる。</p>

<p>文化振興事業</p> <p>1, 837千円</p>	<p>【主要目的】 竹原市文化団体連盟と協力し新たに芸術文化振興協議会を設立し、竹原市総合文化祭を共催して開催するなど、市内の文化活動の推進を図る。また、美術展示会と同様に開催するなどして、芸術振興を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹原市総合文化祭開催 ○ 竹原市美術展開催 ○ 市内小中学校図画・書道展 ○ 美術展示会・音楽祭開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以財団法人 広島県教育事業団委託し小迫・岡野新近辺跡の発掘調査報告書を作成 ○ その他文化財保存事業 ・ 平成24年6月6日に歴史的風致維持向上計画が県内初の認定を受け、計画に基づき甲広島銀行竹原文庫跡地小公園整備事業の実施に向け、計画に基づき甲広島銀行竹原文庫跡地小公園整備事業の実施に向けた調査中 <p>○ 竹原市総合文化祭 10月27日(土)～11月11日(日)</p> <p>○ 竹原市美術展 10月30日(火)～11月3日(土)</p> <p>○ 市内小中学校図画・書道展 11月6日(火)～11日(日)</p> <p>・ 来場者アツプに向けて、式典に合わせて竹原市美術展の表彰式を行った。</p> <p>・ 式典への参加人数増の為、文化団体連盟の各団体10名以上の出席をお願いした所、例年よりもたくさん参加者であった。引き続き行う。</p> <p>・ 市美術展は、部門ごとにその年によって出展が多かったり少なかったりする為、全体数としては程々変化がない。</p> <p>・ 小公園画書道展は大盛況であった。</p> <p>○ 美術展示会・音楽祭臨時開催</p> <p>・ 芸術文化活動支援事業については、前年度並みの団体が活用となったが、もう少し多くの団体に活動していったらえよう努力する。</p>	<p>○ 子供たちを含めての事業はおおむね盛況である。</p> <p>○ どうすれば来場者アツプにつながるか。</p>
<p>常設展開催経費</p> <p>2, 667千円</p>	<p>【主要目的】 当館所蔵の作品をテーマ別に紹介する所蔵品展と併せて池田勇人元首相の写真展示を開催していく。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 所蔵品展「四季を描く」 会期： 2月17日(金)～ 4月22日(日) ○ 所蔵品展「近代の画家たち」 会期： 4月27日(金)～ 7月 8日(日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ別に所蔵品を紹介した。 ・ 全体的には思うような来館者数にはならなかった。 ・ 所蔵品展と合わせて、「たけはらの町並み展」(町並み保存地区の重要な歴史的建造物保存地区選定30周年の記念事業として(作品は公募)を10月19日(金)～12月26日(水)に開催した時は、来館者数は多かった。 	<p>○ 美術館の所在地が市内の遠くからでも分かる高くて大きい位置にあると置くなどではできないか。知っていないと分かりにくい位置にあると思う。</p> <p>○ 常設展はどこの美術館も低調の様子です。学芸員が説明する曜日などを決めるなど工夫が必要。</p>
<p>特別展開催経費</p> <p>7, 332千円</p>	<p>【主要目的】 地域の芸術拠点として、当館を広く市民の皆様を知ってもらうとともに、当館所蔵品とは趣の違う作品の展覧会を開催することにより、文化レベルの向上と芸術文化の振興を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「岡村剛一郎のダンボール遊園地」 会期： 7月21日(土)～ 9月 2日(日) (関連イベント) ワークショップ ○ 「竹原市制施行55周年 文化功労者顕彰 竹原市名誉市民称号 記念 土と炎の至宝 今井政之展」 会期： 3月4日(月)～31日(日) (関連イベント) ・ ろくろの実演・アーティストトーク ・ 小学校向けアーティストトーク ・ 学芸員による列品解説 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みに開催ということもあり、家族での来場者が多かった。リピーターの方も多かった。 ・ 敷居の高い美術館であるが、体験型という事もあり、入りやすく、また幅広い世代が楽しめる展覧会となった。 ・ 関連事業としてダンボール作品も募集し、それらの作品を合わせて展示することで、出品者のご家族等が顧みられ相乗効果で盛り上がった。 ・ 一角に、ダンボールのキットを組み立てたり、色を塗ったりするコーナーを設けたことで、来館者の満足度もアツプした。 ・ 今井先生によるろくろの実演・アーティストトークは来館者も大満足で、技法の説明等わかりやすかったと大好評だった。 ・ 小学生へのアーティストトークも、児童に合わせた説明をしていたので、後日児童から内容を詳細に表現した感想文等が届き、熱心に聴いていた事がうかがえて良かった。 ・ 来館者数も2千人を超え、大盛況となった。 	<p>○ 特別展は好評。行った。良かった。などの声をよく聞いた。</p> <p>○ 入場料が高いという声を聞き、家族券や兄弟券など割安になる工夫も考えてほしい。</p> <p>○ 夏休みの企画展は毎年楽しみにしている。</p>
<p>芸術体験事業</p> <p>40千円</p>	<p>【主要目的】 作品の製作過程を体験することで、芸術に対して関心を深める。</p> <p>【事業内容】 年賀状を作る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵手紙でクリスマスカード・年賀状等を作製した。参加者持参のモチーフで作製。みんな真剣に楽しんでいた。 ・ 子どもも高齢の方まで幅広い参加者で大変好評であった。 	<p>○ カードなどばかりでなく、陶芸や音楽なども体験させてみたい。</p>

(5) 青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを旨として、「青少年の健全育成」「青少年がいきいきと活動できる環境づくり」の推進

施策・事業名	内容等	取組結果と自己評価	教育委員コメント
竹原市青少年指導員設置事業 221千円	<p>【主要目標】 学校外における青少年の問題行動が行われやすい場所を巡回し、状況を把握するとともに、指導し、学校・警察関係機関（市体）等との連携を図り、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】 ○ 市内巡回指導 ○ 学校・警察関係機関（市体）等との情報交換をし、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【実施時期】 7月～3月</p>	各中学校区のグループで日程を調整し、各地区の少年補導員補助員と連携、協力し公園その他青少年の問題行動が行われやすい場所を巡回し、問題の早期発見、適切な指導を行い青少年の健全育成を図った。 7月に少年補導員補助員との合同研修会を実施し、竹原警察署から「青少年の指導員について」の講演をいただき、地域別巡回を行った。	○ ボランティアの皆さんに感謝。以前私も補助員でしたが各学校の保護者も多く参加され、祭りの巡回をしていました。なかなか声をかけにくいものでした。学校地域警察との連携が大切だと感じます。
子ども会育成事業 259千円	<p>【主要目標】 子ども会育成団体及び関係機関の自主運営の促進を図り、子ども会組織の自立並びに、子ども会活動の円滑な運営を推進し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>【事業内容】 ○ 竹原市子ども会育成連合会理事会 《実施時期》 4・12月 ○ 竹原市子ども会育成連合会総会 《実施時期》 6月 ○ 竹原市子ども会育成連合会大会 《実施時期》 2月</p>	竹原市子ども会育成連合会大会「子ども創作大会」を2月16日に実施した。広島大学の学生に講師を依頼し、手作りおもちゃ等の創作教室を行い、市内各小学校1年生～6年生57名が参加した。集団作業により子どもたちの創造性を育て、相互の交流と協調性の育成を図れた。また保護者間の交流により地域の子どもの会の活性化を図れた。	○ 少子化や交通事情で、子供同士で遊ぶ機会が少なく、たまに集まってもゲームばかりしている場合もある。遊び方も教えていく必要がある ○ 子ども会育成事業が一部のように思う。本当に浸透するにはどうしたらよいか。

5 評価委員の評価

【評価委員】 広島大学大学院名誉教授 岡 東 壽 隆
元公立中学校校長 長谷川 文 明
竹原青年会議所理事長 遠 部 敦 也

教育委員会の事務の点検及び評価を行うにあたり、平成25年5月20日に学識経験者3名により、次のとおり点検及び評価をいただきました。

1 評価の目的について

点検・評価については、単なる細かなねらいと事業内容報告ではない大きな目的観が重要である。意識の啓発、実態把握、目標達成度、教育的効果、これからの改善点、次年度の重点課題などの明確化に取組み、評価を改善していくよう努めていかなければならない。

2 主要な事業の評価について

[小中一貫教育推進事業]

小中一貫教育については、忠海中学校区、吉名中学校区は一体型で進んでいるが、他の中学校区においても連携型小中一貫教育を進めていく必要がある。また、児童数が減少していく現状を見据え切磋琢磨できるバランスのとれた教育環境づくりも必要である。

[学校施設耐震化事業]

子どもの安全や地域の避難場所となる学校の耐震化は喫緊の課題である。また、施設の耐震化と併行して避難マニュアルの作成や避難訓練の実施が必要であり、地域の防災拠点として日頃から地域の方と一緒に避難訓練を行い、子どもの安全を守るための大人からの適正な関与が形成される事は非常に大切である。

[高等学校教育支援事業]

地元高校への地元中学校からの進学率は課題となっている。義務教育間だけの連携ではなく大学への進学をにらみ中高の連携はもちろん広い視野で連携する必要がある。地元の後継者を残すべく地元高校への進学率を高める取組を行ってほしい。

[小・中学校教育用コンピュータ整備事業]

コンピュータをとり入れた教育は、教員の認識が重要だが、本市では教員による自主サークルを立ち上げ、研修に努めている。電子黒板は充足率よりも稼働率に着目して評価したい。今後は、コンピュータの便利な面ばかりでなく、その裏にかくれたリスクやマナーなど情報モラル教育にも力をいれてほしい。

[竹原っこ夢プロジェクト事業]

学校教育では下級生は上級生のやることを見て目標としているため、事業の継続性が大切である。子どもの夢を大事に、まわりを巻き込んでかなえていくこの事業は、子どもの生きる力を高める取組として評価できる。学校で実施することのねらいや教育課程上の位置づけを明確にし、実現する夢の選考方法も検討しながら、息の長い事業として継続してほしい。

[学校緑化推進事業]

地域の協力を得て美しい学校をつくり、自分たちの誇りとなっている。自然のペースにあわせ植物を育てていくことは、子どもにとって非常に良い体験だと考える。

[体力テスト事業]

中学校の部活動の活動が、学校間の競争意識や各校が誇りをもてる種目など特色を出しながら、もっと活性化する必要性を感じる。部活動の活性化には、教育委員会のバックアップが必要である。

[公民館運営事業]

高齢者に学びの場を提供することは現在の竹原市にとってニーズが高い。青年層にとっても公開講座など近隣の市町に行かなくてもよいように竹原市で開催できるとよい。

[スポーツ・レクリエーション事業]

スポーツ推進委員の指導者養成は活発に行われており、住民にも浸透しているが、青年・若年層の競技スポーツが弱い。市民体育大会などの活性化を図る必要がある。

[文化芸術事業]

市長部局による観光振興の推進により、観光客が増加していると思う。たけはら美術館の特別展などフェイスブック等のSNSや新聞等を活用した情報発信が効果的である。

3 総評

竹原市教育委員会の行っている事業の良い面をもっと数値化し、広くアピールすべきである。また、「基礎・基本」の定着だけでなく、論理的思考力など応用力の向上についても触れる必要がある。市内の教職員の人材育成を行い、将来のリーダーになれるような取組が必要である。地元の教職員をリーダーに育てていけば、地域の実態に応じた教育の創造につながるだろう。

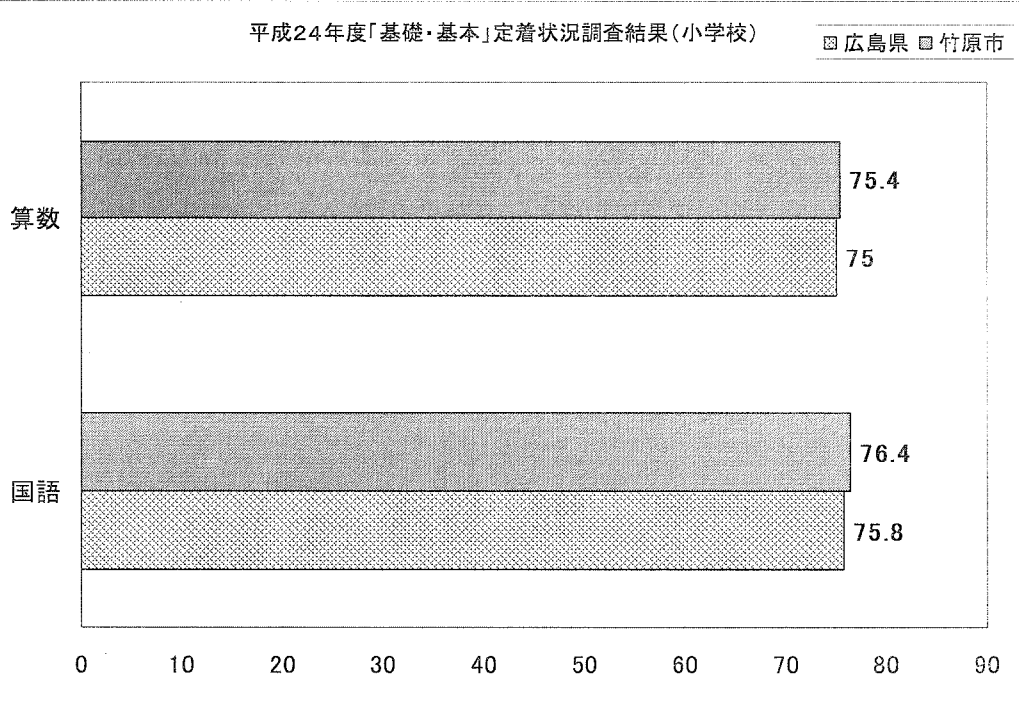
生涯学習についても数値化することにより、ニーズや効果がわかりやすくなる。市の図書館は評判が良く行きやすいが、利用率などを数値化し、より市民にPRする必要がある。社会教育の分野における人材育成についてもまた重要であり、教育・生涯学習を担うリーダーの育成を幅広く行うべきである。

参考資料 1

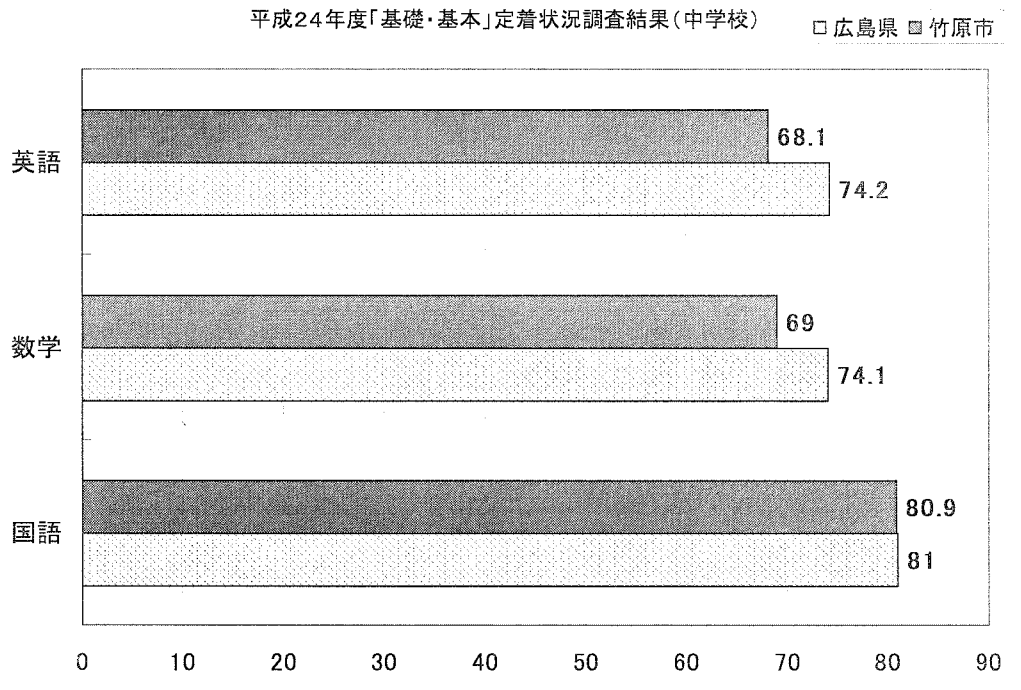
○ 平成24年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査結果

実施日	平成24年6月12日(火)	
実施対象学年	小学校第5学年	中学校第2学年
実施教科	小学校(算数・国語)	中学校(英語・数学・国語)

【小学校】



【中学校】



参考資料2

平成24年度新体力テスト結果
小学校5年男子

▼は、県平均及び全校平均以下の種目

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投
	(kg)	(回)	(回)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
全国(H23)	17.03	19.68	33.20	42.29	54.40	9.28	154.54	25.48
県(H24)	16.56	20.91	32.99	43.56	55.64	9.25	155.08	25.50
市(H24)	19.50	21.83	36.23	43.92	▼52.79	9.23	▼153.08	26.75

小学校5年女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投
	(kg)	(回)	(回)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
全国(H23)	16.55	18.37	37.08	40.24	41.97	9.53	146.19	14.75
県(H24)	16.21	19.47	37.14	41.41	43.17	9.53	147.91	15.20
市(H24)	18.11	20.26	39.77	41.50	▼39.46	▼9.65	▼145.67	16.38

中学校2年男子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(秒)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
全国(H23)	30.58	27.80	44.58	52.92	376.31	90.02	7.83	201.20	22.08
県(H24)	29.85	28.70	44.22	53.11	390.97	85.52	7.91	197.79	21.38
市(H24)	31.59	30.45	48.28	54.64	390.43	▼85.07	7.75	199.15	22.41

中学校2年女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ハンドボール投
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(秒)	(回)	(秒)	(cm)	(m)
全国(H23)	24.14	23.23	45.79	47.01	282.29	62.21	8.72	172.13	14.01
県(H24)	23.91	23.92	46.28	47.05	296.87	57.51	8.78	169.99	13.44
市(H24)	24.96	23.35	49.72	48.77	290.85	62.44	▼8.8	173.64	14.44

平成22年度～24年度生徒指導上の諸問題の状況

暴力行為		竹原市		広島県	
		発生 件数	1000人 あたり	発生 件数	1000人 あたり
小学校	H22	0	0.0	247	1.6
小学校	H23	0	0.0	245	1.6
小学校	H24	4	3.9		
中学校	H22	13	17.4	1068	14.8
中学校	H23	14	18.6	971	13.4
中学校	H24	6	8.4		

いじめ		竹原市		広島県	
		認知 件数	1000人 あたり	認知 件数	1000人 あたり
小学校	H22	0	0.0	202	1.3
小学校	H23	1	0.7	231	1.5
小学校	H24	8	6.2		
中学校	H22	6	8.1	237	3.3
中学校	H23	10	13.3	215	3.0
中学校	H24	11	15.4		

不登校		竹原市		広島県	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	H22	1	0.07	605	0.39
小学校	H23	3	0.22	644	0.42
小学校	H24	2	0.15		
中学校	H22	26	3.49	2156	2.98
中学校	H23	15	2.00	2088	2.88
中学校	H24	21	2.94		

I 竹原市の概要

1 地 勢

面積 1 1 8 . 3 0 km²(東西 21.2 km・南北 14.7 km)

竹原市は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置し、東・北・西を山で囲まれているが、南部は広く瀬戸内海に面している。市の中央を流れる賀茂川の流域と沿岸部に平野が広がっておりその周辺に人口が集中して市街地を形成している。また、年間平均気温 1 5 . 3℃、年間降水量 1, 4 2 0 mm と温暖な気候にも恵まれ、南部地域では、ぶどう・じゃがいも・みかん等の農作物の栽培が盛んで、市の特産物となっている。

(面積 平成 2 4 年 1 月 1 日現在、 気温・降水量 平成 2 3 年 1 ~ 1 2 月分)

2 歴 史

市北部には壮大な古墳群があり、縄文時代の遺跡や古墳時代の横穴式石室が発見されており、今から約 3, 000 年前の昔から人々の生活が営まれていたと推定される。

大化の改新(645 年)後、山陽道が整備されて都宇駅が置かれ、古くから交通の要所であった。平安時代には京都下賀茂神社の荘園となり、都宇竹原荘と呼ばれた(1090 年)。鎌倉時代には竹原小早川家が創設され(1258 年)、小早川家の隆盛と共に竹原は発展した。江戸時代に入浜式塩田が開かれ(1650 年)、竹原は急速に発展し、瀬戸内海屈指の製塩地として繁栄した。この豊かな経済基盤に支えられ儒学等が栄え、頼一門を始めとする多くの文人、学者が生まれた。

明治時代に入ると、古くから商港として栄えた忠海に、豊田郡役所(1878 年)や税務署(1896 年)等が置かれ、豊田郡の中心地として大いに栄えた。昭和 1 0 (1935 年)の呉線全線開通と、同 1 2 (1937 年)の昭和鉱業(現 三井金属鉱業)操業により近代的都市へと躍進した。

竹原町は昭和 2 7 (1952 年)から同 3 1 (1956 年)までに下野村・東野村・大乘村・南方村の小梨地区、そして荘野村・田万里村および吉名村と賀永村の仁賀地区を編入し、昭和 3 3 (1958 年)に忠海町と合併して市制を施行し、現在に至っている。

3 人口・世帯数の推移 (平成 2 4 年 5 月 1 日現在)

(1) 人 口	2 8, 6 9 7 人
	男 1 3, 5 6 5 人
	女 1 5, 1 3 2 人

(2) 世帯数	1 2, 8 2 9 世帯
---------	---------------

II 平成24年度竹原市教育行政の目標

竹原市は、多様化する市民ニーズや地域の課題などに的確に対応し、総合的かつ計画的にまちづくりを推進していくため、平成21年3月「第5次竹原市総合計画」を策定した。この計画では、これまでの取組をふまえ、めざす将来像を『住みよさ実感 瀬戸内交流文化都市 たけはら』と定め、本市の持つ自然環境や歴史文化、コミュニティなど持てるもの、いわゆる底力を発揮し、多彩な交流・ふれあい、さらなる歴史文化をはぐくみ、生きいきとした暮らしやまちの活力・魅力を継承・発展させ、訪れたい、住んでみたい、住み続けたい、そして住んでよかったと思えるまちづくりを目指している。

教育行政は、その目標を『子どもが夢をもち人が輝くまち』と定め、安心と自信をもち子育てができるまち、子どもの夢を応援するまち、知徳体のバランスのとれた子どもの育成ができるまち、そしてすべての人がさまざまな特性や違いを超えてお互いを尊重し、それぞれの能力を発揮できるまちづくりを目指している。市民一人ひとりが、生きがいのある豊かな市民生活を送ることができるために、教育行政の果たす役割は非常に重要である。

平成22年度から生涯学習課関係（図書館・公民館を含む）を市長部局へ補助執行することとした。第5次総合計画を推進するため、まちづくり推進課文化生涯学習室が新設され、生涯学習関係、文化財関係を集約して新しいまちづくりに取り組む。横断的ないくつもの課が一体となり、中身の充実・発展を目指す。

なお、補助執行部分の最終的な権限は教育委員会が持ち、教育行政連絡協議会を設置して総合調整を行う。

教育行政の目標

- 1 「夢をもち、子どもが輝く教育の実現—未来を拓く新たな教育への挑戦—」を目指し、「就学前教育の推進」「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校の推進」「充実した教育環境づくり」を基本方針とした、「基礎学力の向上・定着」「ICT活用教育」「小中一貫教育」の推進
- 2 新しい生涯学習の推進を目指して、「生涯学習推進の仕組みづくり」「多彩な生涯学習機会の確保・充実」「生涯学習関連施設の整備・充実と有効活用」の推進
- 3 だれもがスポーツ・レクリエーションに親しむことを目指して、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」「スポーツ指導体制の確立」「スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実と有効活用」の推進
- 4 竹原の歴史文化や町並みが守られ、活かされることを目指して、「歴史文化を守り、伝え、はぐくむ人づくり」「文化財及び歴史資料の保存・活用の仕組みづくり」「町並みの保存・活用・魅力づくり」の推進
- 5 青少年が家庭や地域のあたたかさを感じながら成長することを目指して、「青少年の健全育成」「青少年がいきいきと活動できる環境づくり」の推進

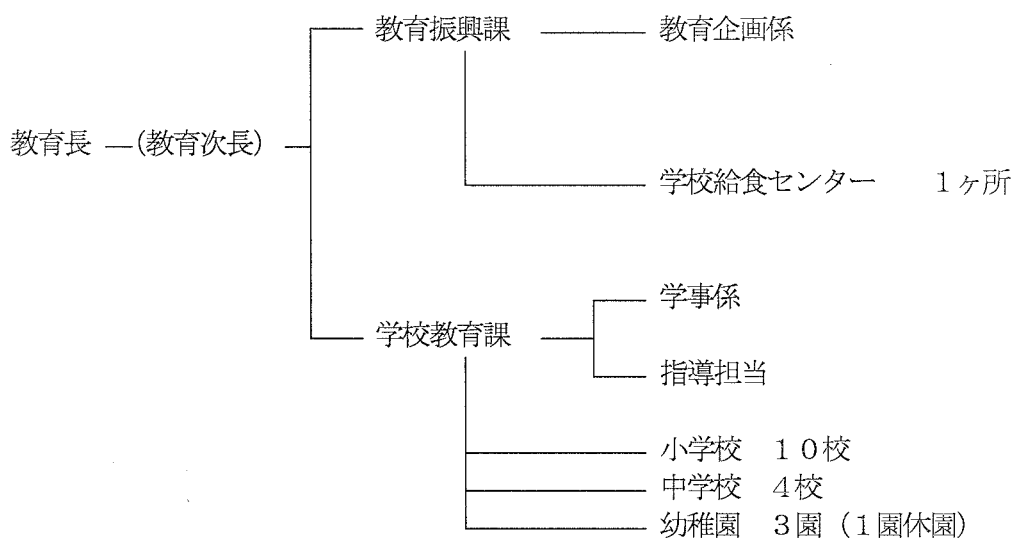
III 教育委員の構成

教育委員		(平成24年5月1日現在)
役職名	氏名	最初の就任年月日
		任期満了年月日
委員長	梅田 一 榮	平成19年 2月 1日
		平成27年 1月31日
委員	別 祖 信 代	平成14年 1月31日
		平成26年 1月30日
委員	河埜内 鈴 子	平成19年 2月 1日
		平成27年 1月31日
委員	大 森 隆 司	平成19年 4月 1日
		平成25年 1月31日
委員	大 内 寛 文	平成22年12月22日
		平成24年 6月20日
教育長	前 原 直 樹	平成20年 6月21日
		平成24年 6月20日

IV 教育委員会事務局の構成・事務分掌

1 教育委員会の機構

- (1) 所在地 竹原市中央五丁目1番35号
- (2) 事務局・学校その他の教育機関



2 竹原市教育委員会事務局分掌

教育振興課

教育企画係

- (1) 教育委員会の会議に関する事
- (2) 教育行政の企画及び総合調整に関する事
- (3) 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に係る連絡調整に関する事
- (4) 教育委員会及び学校その他の教育機関の市費負担職員の任免給与の人事に関する事
- (5) 公印の管守に関する事
- (6) 公文書の受付、発送及び整理に関する事
- (7) 教育委員会に係る歳入歳出予算に関する事
- (8) 調査統計に関する事（他課に属さないもの）
- (9) 教育財産の取得及び処分に関する事
- (10) 教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事
- (11) 請願、陳情等に関する事
- (12) 叙勲申請等に関する事
- (13) 学校給食に関する事
- (14) 学校、幼稚園施設に関する事
- (15) 奨学金に関する事
- (16) 教育行政相談に関する事
- (17) 教育委員会その他教育機関の建設及び維持管理に関する事
- (18) 教育委員会各課の連絡調整に関する事
- (19) その他、課の庶務に関する事
- (20) その他、他の課の所掌に属しない事項に関する事

学校教育課

学事係

- (1) 通学区域に関する事
- (2) 児童、生徒及び幼児の就学に関する事
- (3) 教職員並びに児童生徒及び幼児の保健、安全、厚生、福祉及び環境衛生に関する事
- (4) 教具その他備品に関する事
- (5) 就学援助、就学奨励に関する事
- (6) 幼稚園保育料に関する事
- (7) その他、学校教育に関する事
- (8) その他、課の庶務に関する事

指導担当

- (1) 校長、教職員等県費負担職員の任免、給与その他人事に関する事
- (2) 学級編成に関する事
- (3) 学校教育の調査統計に関する事
- (4) 学校図書館に関する事
- (5) 学校関係諸機関との連絡に関する事
- (6) 教育課程に関する事
- (7) 教育内容に関する事
- (8) 学習指導に関する事
- (9) 生徒指導に関する事
- (10) 教職員の研修に関する事
- (11) 教科書の採択に関する事
- (12) 教育相談室に関する事

V 教育費科目別当初予算の推移

(単位：千円)

科 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
教 育 費	958,118	1,542,579	976,994	1,030,585	971,797
教育総務費	202,906	192,941	202,674	224,572	239,307
教育委員会費	2,904	3,364	3,342	3,157	3,017
事務局費	133,808	141,115	149,575	144,287	187,314
教育指導費	38,949	41,944	43,629	41,466	43,793
就学奨励費	27,245	6,518	6,128	35,662	5,183
小 学 校 費	172,996	175,229	196,842	179,644	194,613
学校管理費	139,484	143,575	163,989	145,304	161,745
教育振興費	33,512	31,654	32,853	34,340	32,868
中 学 校 費	123,522	122,981	110,439	132,064	133,530
学校管理費	100,838	100,801	83,642	103,066	104,661
教育振興費	22,684	22,180	26,797	28,998	28,869
幼 稚 園 費	68,449	66,589	63,984	69,709	74,001
幼稚園費	59,714	55,722	51,663	59,690	62,689
教育振興費	8,735	10,867	12,321	10,019	11,312
社会教育費	217,821	222,344	218,381	251,225	241,924
社会教育総務費	6,023	5,124	4,709	3,093	2,827
公民館費	69,827	71,287	71,072	74,514	73,733
図書館費	56,348	56,693	55,225	58,002	56,109
青少年指導費	5,146	4,909	4,513	4,561	4,534
文化財保護費	34,635	38,381	38,055	65,132	57,685
視聴覚教育費	2,301	2,304	2,255	2,475	2,271
美術館費	41,542	41,690	40,515	41,411	42,928
文化振興費	1,999	1,956	2,037	2,037	1,837
保健体育費	172,424	762,495	184,674	173,371	88,422
保健体育総務費	10,024	9,274	9,108	9,048	8,558
体育施設費	5,695	5,837	3,286	4,419	4,270
学校給食費	156,705	747,384	172,280	159,904	75,594

基本方針

重点課題

具体的実践

就学前教育の

- 教育内容の充実
- 特別支援教育の推進
- 保幼小連携の推進

- 自然体験や社会体験など直接体験活動の推進
- 幼児期にふさわしい道徳性の育成
- 幼児一人ひとりの発達段階に応じた適切な教育の実施
- 日常的、継続的な連携方策の構築と実施

確かな
学力の向上

- ◎ 基礎学力の向上・定着
- 活用・探究する学習活動の充実
- ことばの教育の推進
- 理科教育の推進
- 特別支援教育の推進
- ◎ ICT活用教育の推進
- 外国語活動の充実

- 学力調査の結果を生かした授業改善と学力向上の取組の充実
- 思考力、判断力、表現力などの育成に向けた取組の充実
- 様々なコンクール等への挑戦や評価を活用した取組の充実
- 理科教育における学びの質の向上を図る取組の充実
- 個に応じた組織的・計画的な指導の充実
- ICT活用授業力の向上を通じた授業改善と学力向上
- ALTを活用した実践的な外国語活動の充実

豊かな心と
健やかな
体の育成

- 道徳教育の推進
- 伝統・文化等に関する教育の推進
- 生徒指導の推進
- 読書活動の推進
- キャリア教育の推進
- 食力づくり・健康教育の推進
- 体育の推進
- 環境教育の推進
- 家庭の教育力の向上

- 地域連携による体験活動を通じた自律心、規範意識、公共の精神などの育成
- 優れた伝統・文化に触れる文化芸術体験を取り入れた教育の充実
- 小中一貫した生徒指導課程による生徒指導体制の確立
- 不読者0を目標とした読書活動の充実
- 発達段階に応じた系統的なキャリア教育の取組の充実
- 新体力テストの実施・分析を通じた体育指導の工夫改善
- 組織的な学校給食指導及び家庭と連携したバランスの良い朝ごはんの定着
- 緑のカーテンやガーデニング等の学校緑化活動を通じた環境保全意識の向上
- 基本的な生活習慣の定着に向けた「早寝、早起き、朝ごはん」の徹底

信頼される
学校の推進

- 校長のリーダーシップの確立
- 学校運営組織の確立
- 開かれた学校づくり
- 教職員の資質向上

- 学校経営目標の着実な達成を図る学校体制づくりの推進
- 教育改革を支える基盤の強化
- 学校評価を行い、家庭や地域との協同的な学校教育の推進
- 計画的・組織的・継続的な研修を通じた人材育成
- 不祥事防止委員会の機能化と研修を通じた服務規律の確保

充実した教育
環境づくり

- 学校の適正配置
- ◎ 小中一貫教育の推進
- 学校環境の整備
- 安全・安心な学校・地域
- 図書館教育の推進

- 集团の中で切磋琢磨する教育環境の充実のための適正配置の推進
- 小中連携を強化した小中一貫教育に向けての実践の蓄積
- 学校施設の整備と学校耐震化の推進
- 防災教育及び防犯パトロール等による安全・安心な学校・地域づくりの推進
- 児童生徒の活用を促す学校図書館の整備

未来を拓く新たな教育への挑戦

夢をもち、子どもが輝く教育の実現

2 小・中学校児童生徒数及び学級数

(1) 小・中学校児童生徒数

平成24年5月1日現在

校番	学校名	児童生徒数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	81条学級	計
1	忠海東小	3	5	3	8	10	3	2	34
2	忠海西小	26	23	35	19	26	27	0	156
3	大乘小	15	13	15	16	17	23	3	102
4	竹原小	35	33	42	35	43	37	2	227
5	中通小	24	24	21	19	19	23	4	134
6	竹原西小	50	56	45	57	52	65	5	330
7	東野小	10	16	13	11	15	12	3	80
8	荘野小	16	16	20	13	20	15	0	100
9	仁賀小	1	2	2	2	3	5	1	16
10	吉名小	14	17	23	23	23	13	2	115
小学校計		194	205	219	203	228	223	22	1,294
1	忠海中	37	33	42				2	114
2	竹原中	120	148	148				2	418
3	賀茂川中	43	31	39				3	116
4	吉名中	21	25	21				0	67
中学校計		221	237	250				7	715

(2) 小・中学校学級数

平成24年5月1日現在

校番	学校名	学級数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	81条学級	計
1	忠海東小	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	2	5
2	忠海西小	1	1	1	1	1	1	0	6
3	大乘小	1	1	1	1	1	1	2	8
4	竹原小	1	1	2	1	2	1	1	9
5	中通小	1	1	1	1	1	1	1	7
6	竹原西小	2	2	2	2	2	2	3	15
7	東野小	1	1	1	1	1	1	2	8
8	荘野小	1	1	1	1	1	1	0	6
9	仁賀小	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	1/2	1	4
10	吉名小	1	1	1	1	1	1	2	8
小学校計		10	10	11	10	11	10	14	76
1	忠海中	1	1	2				2	6
2	竹原中	4	4	4				1	13
3	賀茂川中	2	1	1				2	6
4	吉名中	1	1	1				0	3
中学校計		8	7	8				5	28

3 小・中学校教職員数

平成24年5月1日現在

校 番	校 名	計	教 職 員 数											
			県 費 教 職 員 数								市 費 教 職 員 数			
			校 長	教 頭	教 主 諭 幹	教 指 諭 導	教 諭	教 養 諭 護	教 栄 諭 養	職 事 員 務	職 事 員 務	用 務 員	介 助 員	補 校 助 員 務
1	忠海東小	11	1	1	0	0	4	1	0	1	0	1	1	1
2	忠海西小	13	1	1	0	0	7	1	0	1	0	1	0	1
3	大乘小	16	1	1	0	0	9	1	0	1	0	1	1	1
4	竹原小	21	1	1	0	0	11	1	0	1	0	2	4	0
5	中通小	16	1	1	0	0	8	1	0	1	0	1	2	1
6	竹原西小	30	1	1	0	0	16	1	0	1	0	2	6	2
7	東野小	18	1	1	0	0	8	1	0	1	0	1	4	1
8	荘野小	13	1	1	0	0	7	1	0	1	0	1	0	1
9	仁賀小	7	1	1	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0
10	吉名小	20	1	1	0	0	9	1	1	1	0	1	4	1
小学校計		165	10	10	0	0	82	10	1	10	0	11	22	9

1	忠海中	19	1	1	0	0	10	1	0	1	0	2	2	1
2	竹原中	32	1	1	0	0	23	1	0	1	1	1	1	2
3	賀茂川中	17	1	1	0	0	10	1	0	1	0	1	1	1
4	吉名中	14	1	1	0	0	7	1	0	1	0	2	1	0
中学校計		82	4	4	0	0	50	4	0	4	1	6	5	4

合 計		247	14	14	0	0	132	14	1	14	1	17	27	13
-----	--	-----	----	----	---	---	-----	----	---	----	---	----	----	----

※ 臨時職員等を含む

4 学校施設の現況

(1) 小学校

(平成24年5月1日現在)

学校名			忠海東	忠海西	大乗	竹原	中通	竹原西	東野	莊野	仁賀	吉名	合計
児童数			34	156	102	227	134	330	80	100	16	115	1,294
校地面積	校地	面積	7,618	19,634	20,780	20,292	13,618	19,133	9,345	13,313	5,951	15,854	#####
		1人当り	224.1	125.9	203.7	89.4	101.6	58.0	116.8	133.1	371.9	137.9	112.5
	左のうち運動場	面積	3,824	13,467	12,045	9,600	8,180	10,465	5,212	7,295	2,101	10,608	82,797
		1人当り	112.5	86.3	118.1	42.3	61.0	31.7	65.2	73.0	131.3	92.2	64.0
建物面積(m ²)	校舎		2,176	3,890	2,910	5,463	2,404	3,955	2,079	2,265	1,078	3,269	29,489
	屋体		951	807	1,100	1,231	997	919	846	808	789	983	9,431
保有教室数	普通教室		5	6	8	9	7	14	8	6	4	8	75
	特別教室	理科	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	11
		音楽	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	11
		図工	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		家庭	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	11
		図書	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	12
		コンピューター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		特別	1	1	0	2	1	0	0	1	1	1	8
		多目的	2	9	4	13	1	4	0	0	1	4	38
教育相談	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	
プール			7コース	7コース	7コース	7コース	7コース	7コース	7コース	7コース	5コース	7コース	
主要建物の建築年月	校舎		S60年3月	S60年3月	S53年1月	S51年3月	S47年3月	S44年3月	S57年3月	S63年3月	H6年3月	S49年2月	
	屋体		S60年3月	S45年12月	S55年3月	S47年3月	S55年3月	S62年3月	S60年3月	S63年6月	H11年3月	H元年3月	
	プール		H元年3月	S62年2月	H12年3月	S49年7月	S53年7月	S54年8月	S52年8月	S58年2月	S39年9月	S45年10月	

(2) 中学校

(平成24年5月1日現在)

学校名			忠海	竹原	賀茂川	吉名	合計
生徒数			114	418	116	67	715
校地面積	校地	面積	32,254	38,198	20,638	41,271	132,361
		1人当り	282.9	91.4	177.9	616.0	185.1
	左のうち運動場	面積	18,560	26,001	13,287	16,370	74,218
		1人当り	162.8	62.2	114.5	244.3	103.8
建物面積(m ²)	校舎		3,982	7,311	3,200	3,262	17,755
	屋体		1,236	1,471	941	1,012	4,660
保有教室数	普通教室		5	13	6	3	27
	特別教室	理科	2	3	1	2	8
		音楽	1	2	1	1	5
		美術	2	3	1	1	7
		技術	2	3	2	2	9
		家庭	2	3	2	2	9
		視聴覚	2	1	1	1	5
		コンピューター	1	1	1	1	4
		図書	1	2	1	1	5
		特別	1	1	2	2	6
多目的	5	11	2	3	21		
教育相談	5	7	1	2	15		
プール			7コース	7コース	7コース	7コース	
主要建物の建築年月	校舎		S50年3月	S48年9月	S54年8月	S58年1月	
	屋体		S52年3月	S49年10月	H2年3月	S59年3月	
	プール		S55年10月	S51年8月	H5年3月	S63年3月	

5 学校保健

学校教育において、健康診断等を柱とする安全と傷害及び疾病の予防に関する保健教育と管理指導は、児童・生徒の心身の健全な育成を図るとともに、児童・生徒が学校生活を豊かに過ごす上で、基礎的な要素となる。

学校保健の推進にあたっては、体育、保健、安全及び給食指導との相互関連に十分配慮しながら一層の充実を図っていく。

○ 児童・生徒の疾病状況（平成23年度）

区分		視力	歯科					尿			心臓	アトピー	
			う歯なし	処理完了	未処理	歯垢	歯肉	蛋白	潜血	糖			
小学校	平成23年度	人数	320	666	321	342	38	5	8	34	1	12	77
		率%	24.0	50.1	24.2	25.7	2.9	0.4	0.6	2.5	0.1	5.7	5.8
	10年前	人数	313	505	511	687	30	4	16	29	0	6	107
		率%	17.9	29.7	30.0	40.3	1.8	0.2	0.9	1.7	0.0	2.0	6.1
中学校	平成23年度	人数	174	414	139	166	98	46	19	26	3	36	44
		率%	23.2	57.6	19.3	23.1	13.6	6.4	2.6	3.6	0.4	14.9	5.9
	10年前	人数	157	242	143	132	2	3	7	12	1	14	49
		率%	29.3	47.5	28.3	26.1	0.4	0.6	1.4	2.4	0.2	8.3	9.2

区分		心臓疾患	腎臓疾患	耳疾患	鼻疾患	眼疾患	咽頭疾患	ぜん息	肥満	
小学校	平成23年度	人数	5	0	73	332	182	7	39	83
		率%	0.4	0.0	5.5	24.9	13.6	0.5	2.9	6.2
	10年前	人数	1	2	94	386	135	9	58	120
		率%	0.1	0.1	5.4	22.1	7.7	0.5	3.3	6.9
中学校	平成23年度	人数	10	0	74	110	95	3	20	63
		率%	1.3	0.0	9.9	14.7	12.7	0.4	2.7	8.4
	10年前	人数	26	4	32	92	56	0	22	21
		率%	4.9	0.7	6.0	17.2	10.5	0.0	4.1	3.9

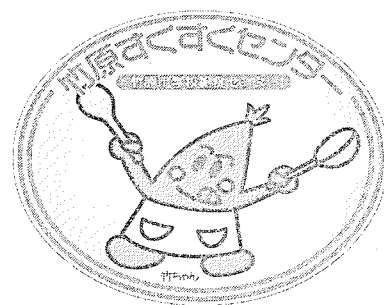
6 学校給食

本市では、昭和22年に一部の学校でミルク給食が始められ、現在、竹原市学校給食センターで、小学校10校と中学校4校へ、安心・安全な学校給食の提供を行っている。

給食内容は、基本方針に定めるとおり、食に関する指導の教材となるために、地場産物や旬の食材の使用や、磁器食器やはしの導入などの食事環境の改善に努めている。また、日本の食文化の継承のために、週3.5回の米飯で主食・主菜・副菜のそろった食事スタイルを基本に、できるだけ手作りで、焼く・蒸す・煮る・炒めるなどの変化のある献立づくりを図っている。

食材の選定は、JAや朝市等と連携しながら、市の特産物や地元で生産される旬の農作物を年間を通して計画的に取り入れており、大型の竹原市学校給食センターで使用する食材選定も、「給食物資の調達に関する要綱」に基づき毎月入札を行い、公平かつ品質のよい食材の購入を図っている。

竹原市学校給食センターは、市内の児童生徒からの応募で決まった「竹原すくすくセンター」というニックネームと、マスコットキャラクターの「竹ちゃん」を目印に、給食だよりの資料提供を行うなど、児童生徒や保護者に親しみやすい給食センターとなるような取組を図っている。



また、平成23年度に実施した地場産物を使用した料理コンテストで児童生徒が考えた401点の料理の中から選ばれた9品を献立に採用し、旬や地場産物への興味関心を高める献立づくりも行っている。

(1) 給食施設の概要

(平成24年5月1日現在)

施設名	建設年	建築構造	面積 (㎡)	完全給食開始
竹原市学校給食センター	H22	鉄骨	1868.25	H22年9月

(2) 学校給食調理場運営状況

(平成24年5月1日現在)

施設名	児童・生徒数			常勤職員数				
	小学校	中学校	計	所長	副所長	栄養士	栄養教諭	調理員
竹原市学校給食センター	1,294	715	2,009	兼1	1 兼1	1	兼1	(23)

() は民間委託職員

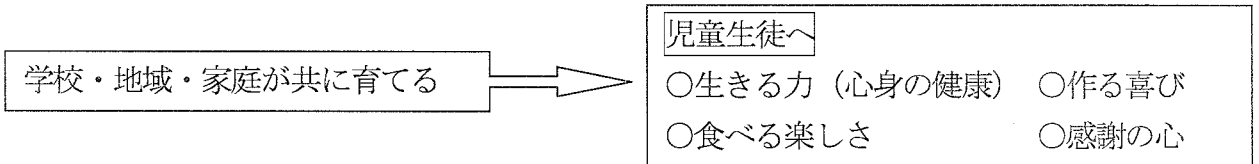
7 食育推進について

各学校で、地域の特徴を生かした食に関する指導計画を作成し、児童生徒へ各教科における食に関する指導を行っている。

中でも、栽培活動や調理などの体験学習は、児童・生徒の食に対する興味関心を高めるとともに、食べ物や生産者への感謝の心が芽生え、学校給食の残菜率の低下などの成果がでている。

児童・生徒の食に関する課題から、平成24年度「食べるの大好き竹原っこ」育成計画の具体目標を「朝ごはんの充実」「食事のマナーを身につけさせる」「食事の準備のできる子の育成」の三点を掲げ、継続的な取組を図っている。

「食べるの大好き竹原っこ」育成計画



【具体目標】


- 1 朝ごはんの充実**
 いつも食べる子を100%に近づけ、「赤・黄・緑の食品」を使った2皿以上の朝ごはんを食べる子を80%以上にする。
- 2 食事のマナーを身につけさせる**
 はしの持ち方・食べる姿勢・正しい配膳ができ、いつもマナーに気をつけている子を90%以上にする。家庭で実践できる子を70%にする。
- 3 食事の準備のできる子の育成**
 炊飯器でごはんが炊ける子を3年生までに90%以上にする。自ら進んで自分のお弁当を作ろうとする生徒を70%にし、中学卒業までに自分の弁当を作れることができる子を100%に近づける。





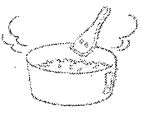
食育の取組

- ・毎月1回…ひろしま産物 DAY
- ・毎月19日…食育の日
- ・6月…竹原市食育週間
- ・10月…ひろしま食育ウィーク
- ・1月…学校給食週間

家庭での実践（夏・冬休み中）

ごはんたぎにチャレンジ
 おこめには ぬかやごみがついています。とくと、ぬかやごみが とれます。おいしいごはんをたくには、こめの「あらいかた」と「みずのりょう」がだいじです。おいしいごはんを じぶんでたいてみましょう。

 **ごはんを たいてみよう**

① こめをはかる。  1カップ=1こう 4人がぞくなら、1かいぶんは2〜3カップくらいです。	③ みずを はかる   おこめのりょうと おなじもりまでみずをいれます。	⑤ てきあがり ぬらした シャもじでごはんをつぶさないように かるくまぜます。おついでで きをつけましょ。
② こめを とぐ。  なるべく てはやく しましょ。 みずが きれいになつたらザルにのせて みずをきります。	④ すいはん器で たく すいはん器の しゆるいでスイツチの いれかたがらがいます。つかいかたを さいてごはんを たきましょ。	

VII 竹原市立幼稚園の現況

1 竹原市立幼稚園における教育目標

幼児期は、人間形成の基礎を培う大切な時期である。幼稚園教育は、遊びを中心とし、集団生活を通じた教育が行われることが重要である。

幼児の発達段階に応じた指導と、幼児相互の交流を通じて、幼児の心身の発達を助長し、その資質・能力の基礎を培うため、一人ひとりに応じた総合的な指導がおこなえる施設整備と幼稚園教育の条件整備を図り、幼稚園教育の普及・充実に努める。

2 就学前の状況

(平成24年5月1日現在)

区分	施設名	定員	3歳未満	3歳児	4歳児	5歳児	計	
幼稚園	市立	竹原西	140	—	24	33	18	75
		竹原東	休園中					
		大乘	105	—	0	8	0	8
	小計		245	0	24	41	18	83
	私立	聖愛	90	—	4	5	3	12
		竹原中央	170	—	30	39	34	103
小計		260	0	34	44	37	115	
保育所	市立	竹原西	90	13	23	18	11	65
		吉名	90	(21) 20	16	13	18	(68) 67
		竹原	80	(10) 9	15	4	(17) 16	(46) 44
		大井	30	11	11	4	9	35
		中通	60	(14) 13	9	14	(14) 12	(51) 48
		東野	45	13	3	7	3	26
		市外入所	—	2	0	0	1	3
		田万里		休所中				
	仁賀		休所中					
	小計		395	(84) 81	77	60	(73) 70	(294) 288
	私立	忠海東部	30	(10) 9	(4) 3	9	(5) 4	(28) 25
		明星	60	(19) 15	(15) 14	(12) 9	(13) 11	(59) 49
		大乘	50	21	9	11	14	55
		賀茂川	80	(30) 26	(16) 14	(16) 15	(25) 22	(87) 77
		市外入所	—	1	0	1	0	2
小計		220	(81) 72	(44) 40	(49) 45	(57) 51	(231) 208	
住民基本台帳年齢別人口			509	184	184	186	1,063	

※ () 数字は広域入所を含んだ人数

3 幼稚園施設の現況

(平成24年5月1日現在)

幼稚園	園地面積 (m ²)				建物面積 (m ²)		園児室	建築年月	
	園地		左のうち運動場		園舎	遊戯室		園児室	遊戯室
	面積	1人当り	面積	1人当り					
大 乗	2,316	289.5	882	110.3	328	115	1	S46.12	S52.8
竹原東	2,656		2,051		292	182	3	S42.3	S42.3
竹原西	2,765	36.9	1,776	23.7	373	147	3	S42.3	S42.3
計	5,081	61.2	2,658	32.0	993	444	7		

Ⅷ 生涯学習の現況

1 生涯学習重点目標

生涯学習を推進するうえで、重要な役割を担う社会教育の充実を図るため、生涯学習の理念に基づき、豊かな生涯学習社会を築くことを目標に、生涯の各時期に「だれでも、いつでも、どこでも」学べる体制づくり、また、国際化、情報化、少子高齢化に対応する適切かつ有効な学習活動ができるよう学習機会の提供及び条件整備に努める。

(1) 生涯学習の推進（市長部局補助執行）

「生涯学習推進体制」の確立と学習支援体制の整備及び市民のニーズに対応する学習機会を充実して、市民の生涯学習を推進する。

(2) 生涯スポーツの振興（市長部局補助執行）

幼児から高齢者が生涯にわたりスポーツに親しみ健康・体力づくりの推進を図り、健やかで豊かな生活を送るための普及・振興を推進する。

(3) 青少年の健全育成（市長部局補助執行）

自分たちの住む地域に関心を持ち、青少年の連帯や主体性を育てるとともに、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。

(4) 芸術・文化の振興（市長部局補助執行）

文化交流と文化財活用を意識した「人と空間を活かす」事を目標とし、文化団体との連携を密にし、住民主体となった統一的な芸術・文化振興組織を目標とし、新たな連携体制・事業展開・手法を取り入れ文化活動の促進を図る。

(5) 文化財の保存活用（市長部局補助執行）

文化財の保存と活用を通じて、市民一人ひとりに文化財へ触れる機会を増やすとともに、文化財保存への取り組みの理解と協力の意義を周知し、郷土文化意識を高め、新たな文化財の掘り起こしと、関係機構・団体との連携の上保存活用の充実と強化を図る。

2 生涯学習施設

(1) 教育施設

施設名	所在地	構造	延床面積	施設内容	開始年月
竹原市民館	中央五丁目 5番24号	RC造 地上3階 地下1階	3,714.33 m ²	ホール, 料理教室, 会議室(5), 和室(3) 竹原中央公民館併設	S43.10
竹原市 歴史民俗資料館	本町三丁目 11番16号	木造 2階	242.03 m ²	展示室(3), 交流ホール	S55.6
松阪邸	本町三丁目 9番22号	木造 2階	347.09 m ²	玄関, 土間, 座敷, 蔵, 便所, 台所	S59.6
竹原市町並み 保存センター	本町三丁目 11番7号	RC造 2階	615.13 m ²	展示室, 収蔵室, 集会室, 研究室	S57.7

光本邸	本町三丁目 7番4号	木造 平屋	156.02 m ²	和室, 展示室 (今井政之 陶芸の館)	H12. 10
森川邸	中央三丁目 16番33号	木造 2階	750.00 m ²	主屋, 離れ座敷, 茶室, 隠居部屋, 土蔵, 表門, 脇門, 塀	H16. 4

(2) 体育施設

施設名	面積	施設の概要	所在地
市営テニスコート	1,502.89 m ²	テニスコート2面	竹原町3471番地
大井スポーツ広場	2,260.00 m ²	多目的グラウンド	下野町926番地5
忠海スポーツ広場	1,120.00 m ²	多目的グラウンド	忠海東町二丁目5040番地
宿根スポーツ広場	588.00 m ²	多目的グラウンド	下野町345番地
小梨スポーツ広場	2,706.00 m ²	多目的グラウンド	小梨町10385番地3
田万里スポーツ広場	3,246 m ²	多目的グラウンド	田万里町1241番地
田万里プール	225.00 m ²	25m×4コース	田万里町1229番地1
バンブー竹原市体育館	3,500.00 m ²	バレーボール2面, バドミントン8面, トレーニングルーム, 会議室	高崎町1414番地
バンブー多目的グラウンド	18,000.00 m ²	400mトラック(8コース), サッカー1面, ソフトボール2面	高崎町1414番地
バンブーテニスコート	11,000.00 m ²	テニスコート8面	高崎町1414番地

(3) 公民館

施設名	所在地	構造	延床面積	施設内容	開館年月日
忠海東公民館	忠海東町五丁目 1番13号	RC造2階	432.50 m ²	和室, 会議室, 料理実習室, 図書室, 集会室	H 3. 1. 4
忠海公民館	忠海中町二丁目 26番1号	RC造2階	902.37 m ²	和室(2), 生涯学習室, 図書室 料理実習室, 集会室	S 29. 7. 8
大乘公民館	高崎町 185番地7	RC造2階 (コミセン併設)	612.00 m ²	和室(2), 会議室, 資料室, 図書室 展示室, 料理実習室, ホール	S 57. 4. 1
竹原中央公民館	中央五丁目 5番24号	RC造3階 (竹原市民館に併設)	3,714.33 m ²	ホール, 料理教室, 図書室 展示室, 会議室(5), 和室(3)	S 52. 4. 19
小梨公民館	小梨町 10381番地1	S造平屋 (コミセン併設)	299.97 m ²	和室(2), 閲覧室, 料理実習室 集会室, 会議室	S 28. 10. 1
竹原西公民館	竹原町 2377番地1	RC造2階 (コミセン併設)	620.00 m ²	和室(3), 会議室(2), ホール 料理実習室	S 58. 4. 23
中通公民館	下野町 3478番地	RC造2階	604.47 m ²	和室(2), 会議室(3), 図書室 料理実習室	S 63. 3. 29
東野公民館	東野町 887番地	RC造2階	609.77 m ²	和室(4), 会議室(2), 図書室 料理実習室	S 28. 10. 11
荘野公民館	西野町 2054番地1	RC造2階	606.75 m ²	和室(2), 会議室(4), 図書室 料理実習室	S 27. 3. 2
田万里公民館	田万里町 1229番地1	RC造2階	1554.25 m ²	和室(2), 会議室, 図書室 料理実習室, 体育館	S 29. 12. 12
仁賀公民館	仁賀町 1292番地1	木造平屋 (生活改善センターに併設)	180.94 m ²	和室(2), 調理実習室, 集会室	S 31. 9. 18
大井公民館	下野町 1525番地	RC造2階	608.24 m ²	和室(4), 会議室, 図書室 調理実習室	S 38. 5. 25
吉名公民館	吉名町 4956番地22	RC造2階 (出張所・コミセン併設)	660.00 m ²	和室(2), 会議室(2), ホール 調理実習室	S 34. 6. 10

X たけはら美術館（市長部局補助執行）

1 館名 たけはら美術館

2 所在地 竹原市中央五丁目6番28号

TEL・FAX 0846-22-3558

ホームページ <http://www.city.takehara.lg.jp/>

メールアドレス take-art@city.takehara.lg.jp

3 施設・設備

《たけはら合同ビル面積概要》

【内訳】

敷地面積 4,911.09 m²

広島県 5,086.35 m²

建築面積 1,886.14 m²

竹原市 1,573.22 m²

延床面積 7,783.93 m²

(たけはら美術館)

商工会議所 1,124.36 m²

《たけはら美術館面積概要》

1階 文化創造ホール（展示室3） 339.13 m² 放送室 6.33 m²

事務室 25.84 m² ロビー 116.06 m²

研究室 21.47 m² その他 106.08 m²

倉庫 110.51 m²

2階 アートギャラリー・池田コレクション（展示室1・2） 446.40 m² その他 112.71 m²

収蔵庫 61.25 m²

4 開館時間・休館日

開館 午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）

休館 毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月4日）

5 館の概要

たけはら美術館は、広島県、竹原市並びに竹原商工会議所が合同で建設した「たけはら合同ビル」の一角に、本市の芸術・文化振興の拠点として、美術品の鑑賞の機会を提供し、広く文化活動のために利用していただくため、平成4年11月1日に開館した。

当館は、本市出身の元内閣総理大臣池田勇人氏が生前愛蔵し、昭和41年故人の遺志を受けてご遺族から寄贈された美術品（池田コレクション）を所蔵している。

池田コレクションは、竹原にゆかりのある江戸後期の儒学者頼山陽（書）の他、狩野芳崖、横山大観、川合玉堂（日本画）、藤田嗣治（素描）、安井曾太郎（油彩画）、棟方志功（水彩画）等、約150点を所蔵している。

竹原の文化を企画展で紹介するとともに、特別展も開催している。

館内は、1階文化創造ホール（多目的ホール）、2階アートギャラリー・池田コレクションで構成し、「竹の街たけはら」にふさわしく中庭に竹の庭園を設け、くつろぎの場を醸しだしている。

6 収蔵品数

(平成24年4月現在)

区 分	池田コレクション	その他の収蔵品	合 計
日本画	46	15	61
油彩画	6	36	42
水彩画	1	0	1
パステル	1	0	1
素描	1	0	1
書	22	48	70
彫 塑	6	12	18
工 芸	18	21	39
そ の 他	47	11	58
合 計	148	143	291

7 美術館利用状況

アートギャラリー・池田コレクション

区 分		平成23年度	平成22年度	平成21年度	
年間開館日数		276日	276日	289日	
展覧会件数		5件	5件	5件	
総入場者数		10,024人	10,038人	5,148人	
展覧会平均入場者数		2,005人	2,008人	1,030人	
展 覧 会 入 場 者	1日平均入場者数	36.3人	36.4人	17.8人	
	常 設 展	件数	4件	3件	4件
		開館日数	224日	185日	239日
		入場者数	1,950人	1,637人	2,317人
		1日平均入場者数	8.7人	8.8人	9.7人
		土日祝日平均入場者数	11.7人	9.5人	14.0人
	企 画 展	件数	1件	2件	1件
		開館日数	52日	91日	50日
		入場者数	8,074人	8,401人	2,831人
		1日平均入場者数	155.3人	92.3人	56.6人

文化創造ホール

区 分	平成23年度	平成22年度	平成21年度
利 用 日 数	191日	146日	205日
展示会	119日	96日	110日
文化講演・講座	3日	4日	8日
演奏会等	0日	1日	0日
参加型イベント	10日	6日	7日
講習会等	11日	19日	55日
展覧会等準備日数	48日	20日	25日
利用件数	39件	41件	53件
年間入場者数	12,000人	9,970人	12,535人
1日平均入場者数	62.8人	68.3人	61.1人

たけはら美術館

平成23年度 年間利用者数

22,024人 (昨年度比+2,016人)

IX 図書館（市長部局補助執行）

- 1 館名 市立竹原書院図書館
竹原市視聴覚ライブラリー
- 2 所在地 竹原市中央四丁目7番11号（〒725-0026）
TEL 0846-22-0778 FAX 0846-22-1072
ホームページ <http://takeharashoin.jp/>
メールアドレス takeharashoin@giga.ocn.ne.jp
- 3 開館時間・休館日
開館 午前10時～午後6時
休館 毎週月曜日，毎月末日（館内整理日），国民の祝日（文化の日を除く），
蔵書点検期間，年末年始（12月28日～1月4日）
- 4 施設・設備
建物面積 736.8㎡（竹原福社会館3階に併設）
事務室 32.2㎡ 視聴覚室 27.9㎡ 閲覧室 132.0㎡
児童室 59.4㎡ 書庫書庫 67.2㎡ 新聞雑誌コーナー 21.0㎡
参考図書室，郷土資料コーナー 54.8㎡ その他 342.3㎡
- 5 館の特色
 - (1) 図書館設立のもととなった「竹原書院」は，寛政5（1793）年に郷土の先賢によって，子弟のための郷塾として設けられたものであるが，その精神的伝統は，明治43（1910）年に設立された，社団法人「竹原書院」に継承され，さらに現在の図書館名の中にも生き続けている。
 - (2) 慶安3（1650）年以來，昭和35年に廃止されるまで，約300年間続いた旧竹原塩田に関する資料をほぼ完全に所蔵しており，塩業史研究のために全国的に貴重なもの。
 - (3) 頼山陽を中心とする資料を収集した「頼山陽文庫」は，これまでに刊行されたもの殆どを網羅しており，特別集書として貴重なもの。
 - (4) 昭和57年10月7日から移動図書館車「わかたけ号」が運行を開始し，約2,500冊の図書を積載して，37ステーションを8コースに分けて巡回している。

6 分類別蔵書数 (平成24年3月31日)

	本 館				
	蔵書数	年間増加冊数			
		受 入	廃 棄 等	小 計	
0. 総 記	11,553	284	0	284	
1. 哲 学	6,739	317	0	317	
2. 歴 史	15,417	479	2	477	
3. 社 会 科 学	24,020	883	0	883	
4. 自 然 科 学	10,630	569	0	569	
5. 工 学	11,558	664	0	664	
6. 産 業	5,222	245	0	245	
7. 芸 術	14,450	560	10	550	
8. 語 学	2,365	65	0	65	
9. 文 学	72,948	3,768	8	3,760	
計	174,902	7,834	20	7,814	
内	児 童	40,019	2,063	6	2,057
	郷 土	14,689	0	0	0
	洋書他	0	0	0	0
蔵 書 冊 数		174,902冊			

平成23年度受入内訳	購 入	7,129冊
	寄 贈	486冊
	そ の 他	106冊
	遡及入力	96冊
	計	7,817冊

7 郷土資料

区 分	内 容	冊 数 ・ 点 数
図 書	竹原市内に関するもの	8,235
	広島県内に関するもの	6,454
近 世 文 書	市史編さん史料として、合併町村から集めたもの、及び竹原塩田関係史料	約20,000
古絵図・拓本類	江戸時代の古絵図(軸物)と、郷土に関する拓本類	32

8 特別資料

- (1) 頼山陽文庫 842冊
- (2) 橋本曇斎資料 67点
- (3) 寄贈文庫 11,686冊
(光本・池田総理記念・唐島・吉井・山下・三村・松山など)

9 視聴覚資料・機器

種 類	数	種 類	数
レコード	258枚	ビデオテープ	96本
録音テープ	396本	マイクロフィルム	161巻
スライドフィルム	36巻	レーザーディスク	19タイトル
8ミリ映画フィルム	1巻	DVD	77枚
紙芝居	855組	カセットテープレコーダー	2台
コンパクトディスク	374枚	オーバーヘッド	1式

10 利用状況

(1) 開館日数

・ 本 館	274日
・ 移動図書館車	96日
・ 竹原市視聴覚ライブラリー	274日

(2) 図書の利用

		本館	移動図書館	合計
個人貸出	登録者数	12,429	—	12,429
	貸出者数	42,273	9,252	51,525
	貸出冊数	164,770	29,995	194,765
団体貸出	登録団体数	216	—	216
	貸出冊数	12,718	25,563	38,281
停本所	停本所数	10	—	10
	貸出冊数	8,763	—	8,763
貸出冊数合計		186,251	55,558	241,809

竹原市文化財一覽表

	名 称	所 在	指 定 年 月 日
国重要文化財	銅鐘（高麗鐘）	本町三丁目13-1	明治43年(1910)4月20日
	春風館頼家住宅	本町三丁目7-24	昭和63年(1988)12月19日
	復古館頼家住宅	本町三丁目7-26	昭和63年(1988)12月19日
国重要伝統的建造物群保存地区	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区	本町一丁目、三丁目、四丁目 の一部	昭和57年(1982)12月16日 選定
国天然記念物	スナメリクジラ廻游海面	高崎町阿波島南端	昭和5年(1930)11月19日
	忠海八幡神社社叢	忠海中町三丁目7-15	昭和11年(1936)9月3日
県重要文化財	木造十一面観音立像	本町三丁目10-44	昭和37年(1962)3月29日
	木造聖観音菩薩座像	吉名町観音谷	昭和53年(1978)1月31日
県 史 跡	磯宮（忠孝岩）	田ノ浦一丁目6-8	昭和12年(1937)5月28日
	唐崎常陸介墓	本町一丁目16-22	昭和17年(1942)6月9日
	頼惟清旧宅	本町三丁目12-21	昭和32年(1957)9月30日
	木村城跡	新庄町末宗	昭和48年(1973)3月28日
県天然記念物	忠海のウバメガシ樹叢	忠海床浦一丁目12-27	昭和12年(1937)5月28日
	楠神社のクスノキ	忠海長浜三丁目8-1	平成4年(1992)10月29日
県無形民俗文化財	福田のしし舞	福田町中谷 稲生神社	昭和56年(1981)4月17日
	忠海の祇園祭みこし行事	忠海中町三丁目7-15	昭和59年(1984)11月19日
市重要文化財	光海神社棟札	吉名町宮条2046	昭和46年(1971)12月27日
	吉名八幡宮法楽連歌	吉名町宮条2046	昭和46年(1971)12月27日
	駕籠	忠海床浦二丁目10-1	昭和46年(1971)12月27日
	弾薬輸送庫	忠海床浦二丁目10-1	昭和46年(1971)12月27日
	松阪家住宅	本町三丁目9-22	昭和60年(1985)4月10日
	西方寺普明閣・お籠堂	本町三丁目10-44	昭和62年(1987)12月26日
	紙本著色竹原絵屏風	本町三丁目7-24	平成2年(1990)2月14日
	森川家住宅	中央三丁目16-33	平成16年(2004)7月21日
	東永谷製鉄遺跡	下野町966-1の一部 外	平成20年(2008)10月22日
市 史 跡	福田社倉	福田町中谷1571	昭和38年(1963)9月13日
	郷賢祠	田ノ浦二丁目	昭和38年(1963)9月13日
	横大道古墳群	新庄町東鷺ノ森331	昭和38年(1963)9月13日
	田万里鏡田古墳群	田万里町鏡田	昭和38年(1963)9月13日
	能島村上氏の遺跡	竹原町124 他	平成4年(1992)12月24日